

## 研究業績：診療局 内科

### 《総合内科・感染症内科》

#### (1) 原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年 月
1	Membranous nephropathy secondary to Graves' disease with deposits of thyroid peroxidase in an adult	Koichi Sasaki, Keiko Yasuda, Koichi Nakanishi, Hiromi Rakugi, Yoshitaka Isaka, Masaya Yamato	CEN Case Reports	3(1)	90-93	2014
2	日本医学英語検定試験3・4級教本第3版	編集協力 入交重雄	日本医学英語教育学会 編			2015.3

#### (2) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	慢性心不全非合併CKD症例におけるβ遮断薬の腎予後への影響	倭 正也 関 雅之 葛城有希子 山田 豊	第111回日本内科学会総会・講演会	2014.4.12
2	シメチジン内服が有効であった筋膜炎-脂肪織炎症候群の一例	関 雅之 左 信哲 葛城有希子 木下真孝 山田 豊 倭 正也	第111回日本内科学会総会・講演会 サテライトシンポジウム 医学生・研修 医の内科学サミット2014	2014.4.12
3	有害事象のため生物学的製剤投与中止となった関節リウマチ症例の検討	入交重雄 薮野互平 小瀬弘樹 金澤元宣	第58回日本リウマチ学会学術集会	2014.4.24
4	Two cases of dengue fever difficult to differentiate from typhoid fever due to the presence of mesenteric lymphadenopathy	Masayuki Seki, Yutaka Yamada, Yukiko Katsuragi, Masanori Kinoshita, Nobuyuki Mishima, Shigeo Irimajiri, Masaya Yamato	ACP(米国内科学会)日本支部年次 総会2014	2014.5.31
5	AKI合併敗血症性ショック症例における長時間連続PMX-DHP療法の有効性	倭 正也	第59回日本透析医学会学術集会・ 総会	2014.6.12
6	CKDにおけるβ遮断薬の腎予後への影響	倭 正也	第57回日本腎臓学会	2014.7.4
7	全身性強皮症(SSC)との鑑別に難渋した筋膜炎脂肪織炎症候群(FPS)の1例	谷本和紀 入交重雄 関 雅之 葛城有希子 山田 豊 木下真孝 三島伸介 倭 正也	第205回日本内科学会近畿地方会	2014.9.20
8	敗血症性ショックにおける連続長時間PMX-DHPの有効性	倭 正也	第35回日本アフレスシス学会 シンポ ジウム	2014.9.27
9	敗血症性急性腎傷害(Septic AKI)におけるPMX-DHPの持続的腎代替療法としての可能性	倭 正也	第35回日本アフレスシス学会 ランチ ョンセミナー	2014.9.28
10	当院における <i>S.maltophilia</i> 検出例の検討ー特に感染予測因子についてー	山田 豊 関 雅之 三島伸介 倭 正也	第57回日本感染症学会中日本地方 会学術集会	2014.10.24
11	比較的高用量ガンシクロビルにて治癒した維持透析患者におけるサイトメガロウイルス腸炎の一例	山田 豊 関 雅之 三島伸介 倭 正也	第57回日本感染症学会中日本地方 会学術集会	2014.10.24
12	腸間膜リンパ節腫大を認め、腸チフスとの鑑別が困難であったデング熱の2例	関 雅之 山田 豊 三島伸介 倭 正也	第84回日本感染症学会西日本地方 会学術集会	2014.10.25
13	急性副鼻腔炎に合併した急性リウマチ熱の1例	河合弘幸 三島伸介 関 雅之 葛城有希子 山田 豊 木下真孝 入交重雄 倭 正也	第206回日本内科学会近畿地方会	2014.12.6
14	β-D-グルカン測定値と培養結果の相関と治療効果についての検討	須合恵美 福岡京子 泉原里絵 北島正大 宮本訓子 宮本紅喜 山内真澄 大野博美 上嶋孝江 山田 豊 倭 正也	第30回日本環境感染学会総会・学 術集会	2015.2.21

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
15	耳鼻咽喉科領域における内視鏡洗浄・消毒方法のマニュアル確立への取り組み	高田澄子 木浪加代 布野知恵美 長尾今日子 須合恵美 福岡京子 上嶋孝江 山内真澄 大野博美 山田 豊 倭 正也	第30回日本環境感染学会総会・学術集会	2015.2.21
16	ITPを呈し脾摘後にループス腎炎・腸炎・膀胱炎にて発症した若年男性SLEの1例	田北大昂 三島伸介 関 雅之 葛城有希子 木下真孝 入交重雄 倭 正也	第207回日本内科学会近畿地方会	2015.3.7
17	敗血症性急性腎傷害(Septic AKI)における第一選択の急性血液浄化療法としてのContinuous PMX-DHPの可能性	倭 正也	第84回大阪透析研究会 ランチョンセミナー	2015.3.15

### (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	CKD診療 ―ジェネラリストと腎臓専門医の医療連携体制―	倭 正也	貝塚市医師会学術講演会	2014.4.17
2	CKD合併高血圧治療の最新報告	倭 正也	第4回泉州地域医療フォーラム	2014.5.10
3	CKDと脳血管疾患との関連	倭 正也	第7回泉州脳神経COLLOQUIA	2014.5.29
4	りんくう総合医療センター病院紹介	倭 正也	第2回南大阪Xa-mmit	2014.5.31
5	CKDと高血圧について	倭 正也	泉佐野泉南薬剤師会	2014.10.9
6	パンデミックが起こったら	三島伸介	第38回医薬情報研究会	2014.10.25
7	パンデミックに備えて	三島伸介	第14回北河内感染症研究会	2014.11.19
8	CKDと高血圧について	倭 正也	泉州CKD勉強会	2014.12.18
9	エボラ出血熱の最近の話題 ～初期対応で患者さんを見逃さない為に～	倭 正也	TAKEDA SCIENTIFIC SEMINAR	2015.1.29
10	エボラ出血熱の現状とわが国における対策	倭 正也	大阪市中央区南医師会医事懇話会例会	2015.2.4
11	エボラ出血熱最新情報と医療機関での対応のポイント	倭 正也	第4回大臨技北地区オープンセミナー	2015.2.7
12	我が国のエボラ出血熱輸入に対する対策と問題点	倭 正也	第21回近畿熱帯医学研究会	2015.3.14
13	エボラ出血熱について～2014年に当院で経験したこと	倭 正也	大阪府研修報告会	2015.3.30

### (4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	第167回臨床集談会 敗血症という病気を知っていますか？―診断および最新の治療―	倭 正也	2014.4.24
2	第168回臨床集談会 関節リウマチの最新治療	入交重雄	2014.5.22
3	第184回りんくうカンファレンス 海外からの帰国後に発熱、下痢や関節痛を主訴に受診された2症例	関 雅之	2014.7.17
4	第184回りんくうカンファレンス より身近になった海外渡航に関連する感染症 ～輸入感染症を中心に～	三島伸介	2014.7.17
5	2014年度第1回感染症センター運営委員会研修会 エボラ出血熱 ～最新の情勢と疑い事例を踏まえた当院の対応について～	倭 正也	2014.10.7
6	第173回臨床集談会 狂犬病とワクチン	三島伸介	2014.10.23

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
7	2014年度第2回院内感染対策研修会、感染症センター運営委員会研修会 エボラウイルス病 ～特定感染症指定医療機関としての当院の対応について～ 2次感染 予防(個人防護具着脱訓練)を中心に	倭 正也	2014.10.28 and 10.30
8	第176回臨床集談会 当科総合診療外来の現状報告	倭 正也	2015.1.22

## 《内分泌代謝内科》

### (1) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	「当院における糖尿病教育入院/チーム医療の現状～インスリン使用患者及び地域紹介の症例提示も含めて～」	倉敷有紀子	りんくう糖尿病病診連携の会	2014.7.10
2	「精神疾患併存の糖尿病管理」	清水勇雄	第15回大阪南サイエンス	2014.9.4
3	「腎臓・尿について」	清水勇雄	加賀谷診療所講演会	2014.9.24
4	「当院における糖尿病教育入院/チーム医療の現状」	倉敷有紀子	第6回泉佐野・泉南糖尿病メディカルスタッフセミナー	2014.11.8
5	放送大学面接授業 第1回 現代の疾病構造と慢性疾患	大野 昭	放送大学和歌山学習センター	2014.12.13
6	放送大学面接授業 第2回 糖尿病の生命科学	大野 昭	放送大学和歌山学習センター	2014.12.13
7	放送大学面接授業 第3回 血管合併症の生理学と病態	大野 昭	放送大学和歌山学習センター	2014.12.13
8	放送大学面接授業 第4回 糖尿病の多様性と治療科学	大野 昭	放送大学和歌山学習センター	2014.12.13
9	放送大学面接授業 第5回 糖尿病を有する人の心理とエンパワメント	大野 昭	放送大学和歌山学習センター	2014.12.14
10	放送大学面接授業 第6回 地域医療の危機と医療福祉	大野 昭	放送大学和歌山学習センター	2014.12.14
11	放送大学面接授業 第7回 超高齢化社会と疾病管理の構築	大野 昭	放送大学和歌山学習センター	2014.12.14
12	放送大学面接授業 第8回 総合討論:市民が選択する医療と規範	大野 昭	放送大学和歌山学習センター	2014.12.14

### (2) 学会発表

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	「当院糖尿病外来初診時の糖質摂取状況と、米飯粒状フードモデルを利用した食事指導効果」	水谷珠真 住井諭美 宇野妙子 江畑有紀 内原真理 倉敷有紀子 清水勇雄 大野 昭 森下壽々枝	第57回日本糖尿病学会年次学術集会	2014.5.22-24
2	「準広域(2次医療圏)で糖尿病診療連携を構築する手法:標準化の試み」	大野 昭	第57回日本糖尿病学会年次学術集会	2014.5.22-24
3	「内科医による非専門医・コメディカルのためのせん妄診断・治療・ケア」	清水勇雄	第27回サイコオンコロジー学会総会	2014.10.3-4
4	「エストロプラムによって賦活症候群を来したと考えられる一症例」	清水勇雄 倉敷有紀子 大野 昭	第27回日本総合病院精神医学会	2014.11.28-29
5	「せん妄治療における漢方薬」	清水勇雄	第3回Osaka Science-based Kampo研究会 学術講演会	2015.2.21

## (3) 院内勉強会

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	「せん妄について」(8海病棟)	清水勇雄	2014.6.23
2	「せん妄について」(8山病棟)	清水勇雄	2014.7.1
3	「せん妄について」(7海病棟)	清水勇雄	2014.12.12 2014.12.25
4	「せん妄について」(5海病棟)	清水勇雄	2015.2.25

## 《血液内科》

## (1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Mycophenolate mofetil use after unrelated hematopoietic stem cell transplantation for prophylaxis and treatment of graft-vs.-host disease in adult patients in Japan.	Iida M, Fukuda T, Uchida N, Murata M, Aotsuka N, Minagawa K, Oohashi K, Fukushima K, Kondo T, Eto T, Miyamoto T, Morishima Y, Nagamura T, Atsuta Y, Suzuki R.	Clin Transplant	28(9)	980-9	2014
2	Clinical Meanings of Quantitative PCR of Patient-Specific Immunoglobulin VDJ Regions Using Various Materials of Myeloma Patients	Hiroshi Sata, Hirohiko Shibayama, Ikuhiro Maeda, Yoko Habuchi, Eiji Nakatani, Kentaro Fukushima, Jiro Fujita, Sachiko Ezoe, Seiji Tadokoro, Tetsuo Maeda, Masao Mizuki, Satoru Kosugi, Masashi Nakagawa, Shuji Ueda, Masato Iida, Yukihiro Tokumine, Hideki Mitsui, Yasuhiko Azenishi, Kenji Oritani, and Yuzuru Kanakura	Blood	124(21)	2049	2014
3	Anamorsin Overexpression Leads to Dysregulation of Lipopolysaccharide-Stimulated B Cell Proliferation through Ras Signaling	Yuri Hamanaka, Hirohiko Shibayama, Akira Tanimura, Takafumi Yokota, Sachiko Ezoe, Michiko Ichii, Norimitsu Saito, Keiko Matsui, Takao Sudo, Tomohiko Ishibashi, Yukiko Doi, Yasuhiro Nagate, Masako Takemoto, Kenji Oritani, and Yuzuru Kanakura	Blood	124(21)	4130	2014

## (2) 学会研究会報告

番号	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	Endothelial antigen ESAM marks human hematopoietic stem/progenitor cells in diverse sources	Tomohiko Ishibashi, Takafumi Yokota, Michiko Ichii, Takao Sudo, Yusuke Satoh, Yukiko Doi, Natsuko Fujita, Yasuhiro Nagate, Yuri Hamanaka, Keiko Matsui, Akira Tanimura, Norimitsu Saitoh, Sachiko Ezo, Hirohiko Shibayama, Kenji Oritani, Yuzuru Kanakura	第76回日本血液学会学術集会 (大阪)	2014.10.31-11.2
2	Evaluation of patient-specific MRD with quantitative RT-PCR in the patients with multiple myeloma	Hiroshi Sata, Hirohiko Shibayama, Ikuhiro Maeda, Yoko Habuchi, Eiji Nakatani, Kentaro Fukushima, Jiro Fujita, Sachiko Ezo, Seiji Tadokoro, Tetsuo Maeda, Masao Mizuki, Satoru Kosugi, Masashi Nakagawa, Syuji Ueda, Masato Iida, Yukihiro Tokumine, Yasuhiko Azenishi, Hideki Mitsui, Kenji Oritani, Yuzuru Kanakura	第76回日本血液学会学術集会 (大阪)	2014.10.31-11.2
3	ESAM on hematopoietic cells is essential for recovery of erythropoiesis after bone marrow injury	Takao Sudo <sup>1,3</sup> , Takafumi Yokota <sup>1</sup> , Daisuke Okuzaki <sup>2</sup> , Michiko Ichii <sup>1</sup> , Tomohiko Ishibashi <sup>1</sup> , Tomomi Isono <sup>1</sup> , Yukiko Doi <sup>1</sup> , Masako Takemoto <sup>1</sup> , Yoko Habuchi <sup>1</sup> , Akira Tanimura <sup>1</sup> , Sachiko Ezo <sup>1</sup> , Hirohiko Shibayama <sup>1</sup> , Kenji Oritani <sup>1</sup> , Yuzuru Kanakura <sup>1</sup>	第76回日本血液学会学術集会 (大阪)	2014.10.31-11.2

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
4	Analysis of anamorsin function using anamorsin transgenic mice	Yuri Hamanaka, Hirohiko Shibayama, Akira Tanimura, Takafumi Yokota, Sachiko Ezoe, Norimitsu Saito, Michiko Ichii, Keiko Matsui, Takao Sudo, Tomohiko Ishibashi, Yukiko Doi, Yasuhiro Nagate, Masako Takemoto, Kenji Oritani, Yuzuru Kanakura	第76回日本血液学会学術集会 (大阪)	2014.10.31-11.2
5	Clinical Meanings of Quantitative PCR of Patient-Specific Immunoglobulin VDJ Regions Using Various Materials of Myeloma Patients	Hiroshi Sata, Hirohiko Shibayama, Ikuhiro Maeda, Yoko Habuchi, Eiji Nakatani, Kentaro Fukushima, Jiro Fujita, Sachiko Ezoe, Seiji Tadokoro, Tetsuo Maeda, Masao Mizuki, Satoru Kosugi, Masashi Nakagawa, Shuji Ueda, Masato Iida, Yukihiro Tokumine, Hideki Mitsui, Yasuhiko Azenishi, 10, Kenji Oritani, and Yuzuru Kanakura	56th ASH Annual Meeting & Exposition(San Francisco, USA)	2014.12.6-9
6	Anamorsin Overexpression Leads to Dysregulation of Lipopolysaccharide-Stimulated B Cell Proliferation through Ras Signaling	Yuri Hamanaka, Hirohiko Shibayama, Akira Tanimura, Takafumi Yokota, Sachiko Ezoe, Michiko Ichii, Norimitsu Saito, Keiko Matsui, Takao Sudo, Tomohiko Ishibashi, Yukiko Doi, Yasuhiro Nagate, Masako Takemoto, Kenji Oritani, and Yuzuru Kanakura	56th ASH Annual Meeting & Exposition(San Francisco, USA)	2014.12.6-9

(3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	～抗体療法、分子標的療法の現在～	福島 健太郎	泉佐野・泉南薬剤師会・第170回合同勉強会	2014.6.12
2	関西医療大学「慢性期病態学」	福島 健太郎	「血液・造血器疾患」講義	2014.11.26 2014.12.3

## (4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	第167回 臨床集談会 “骨髄バンクって、ご存知ですか？ —非血縁者間造血細胞移植の現状—”	福島 健太郎	2014.4.24
2	りんくう総合医療センター・市民健康講座 「本当は怖い 貧血の話」～こんな症状ありませんか？～	福島 健太郎	2014.7.19
3	りんくうカンファレンス 症例提示「関節リウマチ治療中に不明熱をきたした一例」	数藤 孝雄	2014.9.18
4	りんくうカンファレンス ミニレクチャー「骨髄バンクって、ご存知ですか？～幹細胞という名の、命の一滴～」	福島 健太郎	2014.9.18

## 研究業績：診療局 神経内科

## (1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	CTでは硬膜下血腫が疑われた横静脈洞血栓症のMRI-T2*強調画像	宗田高穂 川井正統 千田賢作 出原 誠 森内秀祐	神経内科	81巻6号	696-697	2014
2	右側の橋梗塞で左上下肢の運動失調が出現した1例	宗田高穂 川井正統 千田賢作 出原 誠 森内秀祐	神経内科	82巻3号	334-335	2015

## (2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	頭部単純CTで硬膜下血腫が疑われ、MRI-T2*強調画像が診断に有用であった症例	宗田高穂 川井正統 千田賢作 出原 誠 森内秀祐	日本脳卒中学会総会	2015.3.28

## 研究業績：診療局 循環器内科

## (1) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	発症機序の推定に難渋した急性左主幹部梗塞の一例	堂上友紀	第35回大阪冠インターベンション研究会	2014.4.9
2	CTO治療中にVF Stormとなった1例	武田吉弘	第15回Complex PCI Circle勉強会	2014.4.12
3	CTO Live オペレーター	武田吉弘	近畿心血管ジョイントライブ KCJL2014	2014.4.17
4	ACS&LMT病変ビデオライブ ケースプレゼンター	武田吉弘	近畿心血管ジョイントライブ KCJL2014	2014.4.18
5	ガイドワイヤの特性とその使い方	武田吉弘	近畿心血管ジョイントライブ KCJL2014	2014.4.18
6	失敗から学ぶComplex PCI -LMT病変-	武田吉弘	近畿心血管ジョイントライブ KCJL2014	2014.4.18
7	クロピドグレルの過敏反応に対して休薬することなく経口ステロイド導入によって寛解させた2症例	藤原敬太 武田吉弘 大野壮史 村木良輔 堂上友紀 永井義幸	近畿心血管ジョイントライブ KCJL2014	2014.4.18
8	急性大動脈解離(Stanford A)に左主幹部梗塞を合併した症例に対して、ステント留置を行うべきか？	大野壮史 武田吉弘 藤原敬太 村木良輔 堂上友紀 永井義幸	近畿心血管ジョイントライブ KCJL2014	2014.4.19
9	CRT留置後心不全治療に難渋した1例	武田吉弘 藤原敬太 森下 瞬 笠原 卓 大野壮史 尾崎雄一 村木良輔 堂上友紀 永井義幸	第7回南大阪不整脈研究会	2014.5.10
10	第二世代DES時代に残された課題に挑む -Imaging deviceどう使う？どう読む？- (ライブオペレーター)	武田吉弘	第4回豊橋ライブデモンストレーションコース	2014.5.31

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
11	小血管病変 ケースカンファレンス (ファシリテーター)	武田吉弘	第4回豊橋ライブデモンストレーションコース	2014.5.31
12	術前CTの検討が不足していたLAD-CTOの一例	武田吉弘	第46回m-CTO & 12th Interventionalist のための心臓CT研究会(CCTI研究会) Joint Conference	2014.6.7
13	Fireside Session: Proctorship Live(Commentator)	Yoshihiro Takeda	CTO Club The 15th Seminar of Angioplasty of chronic Total Occlusions	2014.6.20
14	Retrograde Summit 2014, Live Case Transmission(Commentator)	Yoshihiro Takeda	CTO Club The 15th Seminar of Angioplasty of chronic Total Occlusions	2014.6.21
15	大動脈解離の破裂に伴う肺動脈主幹部閉塞により意識消失を来した1例	藤原敬太 武田吉弘 森下 瞬 笠原 卓 大野壮史 尾崎雄一 村木良輔 堂上友紀 永井義幸	第117回日本循環器学会 近畿地方会	2014.7.12
16	Impact of MRI-detected cerebral microbleeds on late symptomatic stroke in patients receiving dual-antiplatelet therapy after DES implantation	Yoshihiro Takeda Keita Fujiwara Soushi Oono Yoshika Takenaka Naoki Maniwa Ryousuke Muraki Tomoki Dohue Yoshiyuki Nagai	The 23rd Annual Meeting of the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics: CVIT2014	2014.7.25
17	Japanese Clopidogrel Hyporesponsiveness in Patients with Coronary Artery Disease after Undergoing Stent Implantation study ( j-CHIPS trial)	Yoshihiro Takeda Keita Fujiwara Soushi Oono Yoshika Takenaka Naoki Maniwa Ryousuke Muraki Tomoki Dohue Yoshiyuki Nagai	The 23rd Annual Meeting of the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics: CVIT2014	2014.7.26
18	ライブコメンテーター、講師	武田吉弘	播磨PCI Conference PCI Live Demonstration in Himeji	2014.8.1
19	クロピドグレルの過敏反応に対して休薬することなく経口ステロイド導入によって寛解させた2症例	藤原敬太 武田吉弘 笠原 卓 森下 瞬 大野壮史 尾崎雄一 村木良輔 堂上友紀 永井義幸	平成26年度大阪循環器部会 症例・プロジェクト検討会	2014.8.9
20	Complex PCIの治療戦略 -PCI手技と薬物治療を考える- (ケースプレゼンテーション プレゼンター)	武田吉弘	Sapporo Live Demonstration Course 2014 S(Sapporo)-CTO ケースカンファレンス	2014.9.6
21	Live Demonstration V CTO2 (コメンテーター)	武田吉弘	Bay area Complex PCI & Imaging Conference 2014	2014.10.4
22	Rotaワイヤが断裂し、治療に難渋した石灰化病変の一例	笠原 卓	Bay area Complex PCI & Imaging Conference 2014	2014.10.4
23	59歳女性、右冠動脈1枝病変の急性冠症候群の1例	尾崎雄一	36th Meeting of Gruentzig Club 症例検討会(第36回大阪冠インターベンション研究会)	2014.10.8
24	最新のCTO戦略	武田吉弘	第23回日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会	2014.10.11
25	深部大腿動脈-仮性動脈瘤に対してバルーン・ブロック+皮下トロンピン注入が有効であった一例	村木良輔 武田吉弘 森下 瞬 笠原 卓 藤原敬太 大野壮史 尾崎雄一 堂上友紀 永井義幸	第23回日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会	2014.10.11



番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
26	59歳女性、右冠動脈1枝病変の急性冠症候群の1例	笠原 卓 武田吉弘 森下 瞬 藤原敬太 大野壮史 尾崎雄一 村木良輔 堂上友紀 永井義幸	第20回中之島循環器・代謝フォーラム	2014.10.18
27	Themed Live Case Transmission 1 (commentator)	Yoshihiro Takeda	Complex Cardiovascular Therapeutics 2014	2014.10.30
28	Complications in CTO-PCI: Antegrade and retrograde approach	Yoshihiro Takeda	Complex Cardiovascular Therapeutics 2014	2014.10.30
29	The usefulness of IVUS guidance for CTO intervention	Yoshihiro Takeda	Complex Cardiovascular Therapeutics 2014	2014.10.31
30	CTO症例 カテ術者	武田吉弘	第1回りんくうワークショップ 症例検討会	2014.11.14
31	インフルエンザBウイルス感染を契機に劇症型心筋炎を発症した1例	笠原 卓 武田吉弘 森下 瞬 藤原敬太 尾崎雄一 村木良輔 堂上友紀 永井義幸	第118回日本循環器学会 近畿地方会	2014.11.29
32	100歳女性の急性下肢動脈閉塞に対し、Controlled Limb Reperfusion を行いつつ血行再建術を施行した1例	森下 瞬 武田吉弘 笠原 卓 藤原敬太 尾崎雄一 村木良輔 堂上友紀 永井義幸	第118回日本循環器学会 近畿地方会	2014.11.29
33	Live Demonstration Session 5(座長)	武田吉弘	The 6th K-VIC Live Demonstration	2015.2.7
34	循環器疾患の病診・病病連携	永井義幸	第31回りんくう循環器ネットワーク研究会	2015.2.7
35	心肺蘇生の合併症によるStanford A型急性大動脈解離を認めた左主幹部梗塞の1例	笠原 卓 武田吉弘 森下 瞬 藤原敬太 尾崎雄一 村木良輔 堂上友紀 永井義幸	第24回日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会	2015.2.14
36	ステント血栓症・DCB(座長)	武田吉弘	第24回日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会	2015.2.14
37	STEMIに対して、DCBを使用した一例	堂上友紀 武田吉弘 森下 瞬 笠原 卓 藤原敬太 尾崎雄一 村木良輔 永井義幸	第24回日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会	2015.2.14
38	CTO症例 カテ術者	武田吉弘	第2回りんくうワークショップ 症例検討会	2015.2.19
39	症例検討 演者	武田吉弘	第53回m-CTO & 15 <sup>th</sup> Interventionalistのための心臓CT研究会 (CCTI研究会)	2015.2.21
40	Impact of cerebral microbleeds on late symptomatic stroke in patients treated with dual-antiplatelet therapy after DES implantation	Yoshihiro Takeda Syun Morishita Taku kasahara Keita Fujiwara	ACC.15 64th Annual Scientific Session & Expo	2015.3.14
41	PCI手技上の工夫とトラブルシューティング	武田吉弘	HANSHIN YES CLUB MEETING	2015.3.21

## (2) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	最新の心房細動の診療:臨床とガイドラインの溝を埋める	武田吉弘	平成26年7月泉佐野泉南医師会学術講演会(I)	2014.7.5

## (3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	急性大動脈解離(Stanford A)に左主幹部梗塞を合併した2症例	大野壮史	2014.5.15
2	虚血性心疾患の診断における冠動脈CTの役割	堂上友紀	2014.5.15
3	心筋炎の自験例	笠原 卓	2015.2.26

## 研究業績：診療局 呼吸器内科

### (1) 原著、総説、著書

番号	整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1		Ca <sup>2+</sup> dynamics and Ca <sup>2+</sup> sensitization in the regulation of airway smooth muscle tone	Kume H	Muscle Cell and Tissue (Ed. Sakura K)	Intech, Rijeka, Croatia		in press
2		新薬の最近の話題 ホルモテロールファミル酸塩水和物(解説)	久米裕昭 東田有智	分子呼吸器病	18(1)	94-98	2014
3		SMART療法の有効性と安全性の検討(解説/特集)	久米裕昭	臨床免疫・アレルギー科	61(5)	513-9	2014
4		薬剤師外来における吸入指導ー服薬アドヒアランスに影響を与える要因(原著論文)	永井智子 後藤 綾 浅井玲名 椿井 朋 肥田裕丈 毛利彰宏 宮崎雅之 久米裕昭 伊藤 理 長谷川好規 山田清文 野田幸裕	医療薬学	40(7)	375-82	2014
5		好酸球性気道炎症が潜伏する慢性閉塞性肺疾患に対する吸入長時間作用性・2刺激薬、吸入ステロイド薬併用の有効性 Asthma-COPD Overlap Syndrome (ACOS)の概念を踏まえて(原著論文)	久米裕昭 東田有智	吸入療法	21(12)	1966-76	2014
6		Effects of inhaled aminophylline on airway constriction and inflammation in ovalbumin-sensitized guinea pigs.	Muraki M, Wada S, Ohno T, Hanada S, Sawaguchi H, Iwanaga T, Kume H, Tohda Y.	Drug Deliv	21(5)	321-7	2014
7		Mediastinal fibrosis and positive antineutrophil cytoplasmic antibodies: coincidence or common etiology?	Santo H, Nishiyama O, Sano H, Kitaichi M, Kume H, Tohda Y.	Intern Med	53(3)	275-7	2014
8		Exhaled nitric oxide measurement may predict asthma exacerbation after stepping down formoterol/budesonide combination therapy in adult asthma	Shirai T, Kawayama T, Nagase H, Inoue H, Sato S, Asano K, Kume H	J Allergy Ther	5(3)	100073	2014
9		Research and development of bronchodilators for asthma and COPD with a focus on G protein/KCa channel linkage and b <sub>2</sub> -adrenergic intrinsic efficacy	Kume H, Fukunaga K, Oguma T	Pharmacol Ther			in press
10		COPD(慢性閉塞性肺疾患)ーインフォームドコンセントのための図説シリーズー	東本有司 桑平一郎 平田一人 浅井一久 山谷睦雄 中川 研 榎 博久 藤本圭作	医療ジャーナル社			2014
11		成人喘息ーイチから知りたいアレルギー診療ー	東本有司	全日本病院出版会			2014
12		喘息ー診療ガイドライン UP-TO-DATE 2014ー2015ー	東本有司 東田有智	メディカルビュー社			2014

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
13	Opioid switch from low dose of oral oxycodone with stable thoracic malignancy-related pain	Seigo Minami, Takashi Kijima, Takeshi Nakatani, Suguru Yamamoto, Yoshitaka Ogata, Haruhiko Hirata, Takayuki Shiroyama, Taro Koba and Kiyoshi Komuta	BMC Palliative Care	13	46	2014
14	A Retrospective study of prognostic factors in patients with interstitial pneumonia receiving long-term oxygen therapy	Masayoshi Higashiguchi, Takashi Kijima, Hiromitsu Sumikawa, Osamu Honda, Toshiyuki Minami, Haruhiko Hirata, Koji Inoue, Izumi Nagatomo, Yoshito Takeda, Hiroshi Kida, Noriyuki Tomiyama, Atsushi Kumanogoh	Lung	192(5)	729-737	2014
15	Development of microscopic polyangiitis-related pulmonary fibrosis in a patient with autoimmune pulmonary alveolar proteinosis	Yuhei Kinehara, Hiroshi Kida, Yoshikazu Inoue, Masaki Hirose, Akihiko Nakabayashi, Yoshiko Takeuchi, Yoshitomo Hayama, Kiyoharu Fukushima, Haruhiko Hirata, Koji Inoue, Toshiyuki Minami, Izumi Nagatomo, Yoshito Takeda, Toshiki Funakoshi, Takashi Kijima and Atsushi Kumanogoh	BMC Pulmonary Medicine	14	172	2014
16	Favorable irect response to trastuzumab plus irinotecan combination therapy in two patients with HER2-positive relapsed small-cell lung cancer	Yuhei Kinehara, Toshiyuki Minami, Takashi Kijimaa, Shigenori Hoshino, Osamu Morimura, Tomoyuki Otsuka, Yoshitomo Hayama, Kiyoharu Fukushima, Yoshiko Takeuchi, Masayoshi Higashiguchi, Kotaro Miyake, Haruhiko Hirata, Izumi Nagatomo, Koji Inouea, Yoshito Takeda, Hiroshi Kida, Atsushi Kumanogoh	Lung Cancer	87(3)	321-5	2014
17	スイッチ・オブリーク法により肺野末梢小病変の直視下生検に成功した1例	三宅浩太郎 福島清春 竹内美子 葉山善友 甲原雄平 南 俊行 平田陽彦 長友 泉 井上幸治 武田吉人 木島貴志	気管支学	36	481-486	2014

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
18	Dapsone hypersensitivity syndrome-related lung injury without eosinophilia in the bronchoalveolar lavage fluid	Yuhei Kinehara, Takashi Kijima, Koji Inoue, Haruhiko Hirata, Yoshiko Takeuchi, Kiyoharu Fukushima, Yoshitomo Hayama, Masayoshi Higashiguchi, Osamu Morimura, Kotaro Miyake, Toshiyuki Minami, Izumi Nagatomo, Yoshito Takeda, Hiroshi Kida and Atsushi Kumanogoh	Intern Med	54	827-831	2015

(2) 学会研究会報告

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	高齢者喘息とCOPDの鑑別そして、ICS投与の理論と実際(ランチョンセミナー)	久米裕昭	第54回日本呼吸器学会 学術講演会	2014.4.25
2	好酸球性気道炎症を有する慢性閉塞性肺疾患に対する吸入ステロイド薬の追加効果	久米裕昭	第54回日本呼吸器学会 学術講演会	2014.4.25
3	ムスカリン受容体を介する気道平滑筋収縮に対する抗コリン薬、b2刺激薬の相乗作用	久米裕昭	第54回日本呼吸器学会 学術講演会	2014.4.26
4	SMART療法への期待—患者さんのニーズに応え、より良い喘息コントロールを提供する治療法とは(ランチョンセミナー)	久米裕昭	第54回日本呼吸器学会 学術講演会	2014.4.27
5	慢性閉塞性肺疾患に潜む好酸球性気道炎症と気道過敏性亢進—喘息合併の検索(ミニシンポジウム)	久米裕昭	第26回日本アレルギー学会春季 臨床大会	2014.5.10
6	4D-CT images during maximum forced expiration indicate that expiratory airflow limitation in emphysema occurs at the intra-mediastinal airway	H. Hirata	ATS 2014 International Conference	San Diego, USA 2014.5.16-21
7	Involvement of KCa channels via Gi, Gs, in the synergistic effects between anticholinergic agents and beta2-adrenoceptor agonists in airway smooth muscle. (Poster Discussion Session)	Kume H	ATS 2014 International Conference	San Diego California, U.S.A. 2014.5.21
8	肺癌における肺切除後の日常活動量に及ぼす外来リハビリテーションの効果	東本有司	日本リハビリテーション学会学術集会	2014.6.5
9	肺癌による肺切除後の日常活動量に及ぼす加齢の影響と外来リハビリテーションの効果	東本有司	日本老年医学会学術集会	2014.6.12
10	肺気腫の1秒率低下は縦隔内気道の動的狭窄に起因する:最大努力呼吸4D-CT画像による直接検証	平田陽彦	第36回日本呼吸療法医学会学術総会	2014.7.19
11	流体力学にもとづいた呼吸インピーダンスの新たな解釈の提案	平田陽彦	第36回日本呼吸療法医学会学術総会	2014.7.19
12	COPDの呼吸リハビリテーションの効果に関連する合併症と背景因子の検討	東本有司	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 学術集会	2014.10.24
13	Role of L-type Ca <sup>2+</sup> channel /KCa channel linkage in the synergistic response between anticholinergic agents and beta2-adrenergic receptor agonists in airway smooth muscle. (Poster Presentation)	Kume H	19th the Congress of Asian Pacific Society of Respiriology	Bali Indonesia 2014.11.14
14	COPD治療の夜明け～LABA/LAMA配合剤を用いた気管支拡張療法の進展(ランチョンセミナー)	久米裕昭	日本超音波医学会 第41回関西地方会学術集会	2014.11.22

(3) 学術講演

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	COPD診療におけるLABA・LAMA併用の理論と実際	久米裕昭	泉州 COPD フォーラム 泉佐野市	2014.4.5
2	COPD治療薬の選択～LABA・LAMA併用の理論と実際～	久米裕昭	COPD FORUM 神戸市	2014.6.7
3	高齢者喘息とCOPDの鑑別～ICSの適応をめぐって～	久米裕昭	第63回新潟アレルギー研究会 新潟市	2014.6.14
4	喘息・COPD診療に残された課題と新規ICS/LABA製剤に期待できるもの	久米裕昭	第3回水曜会喘息フォーラム 名古屋市	2014.6.21
5	喘息、COPDにおける薬理学的特性を活かしたICS/LABA療法の理論と実際	久米裕昭	第41回静岡県アレルギー性疾患(APD)研究会 浜松市	2014.7.5
6	COPD診療における気管支拡張薬の選択～LABA, LAMAの特性から考える	久米裕昭	泉佐野泉南医師会学術講演会 泉佐野市	2014.7.26
7	LABA, LAMAの特性に基づくCOPD治療の理論と実際	久米裕昭	Core Physicians 東京	2014.8.1
8	SMART療法～患者さんのニーズと医療の変革に応えるために	久米裕昭	Asthma Expert Caravan 2014 香川県高松市	2014.8.25
9	新たな喘息SMART療法は有用か？(Pro)	久米裕昭	Symbicort 学術講演会 静岡市	2014.8.29
10	喘息・COPD合併症候群(ACOS)の鑑別法と有用なICS/LABAの選択と使用方法	久米裕昭	平成26年度 第3回西成区医師会学術講演会 大阪市	2014.9.19
11	レルベアにおける薬理学的特性からみた臨床的有用性～喘息治療の変革を求めて～	久米裕昭	CareNet Web講演会 東京	2014.10.6
12	喘息、COPDの基本病態と吸入療法の理論と実際	久米裕昭	名東区保険薬局研修会 名古屋市	2014.10.23
13	喘息、COPDの薬物療法の発展させる為の薬理特性の探求～基礎から臨床まで	久米裕昭	第3回Airway & Allergy Club 東京	2014.11.7
14	COPD診療におけるLABA/LAMA併用の理論と実際～気管支拡張療法の進展を求める～	久米裕昭	COPD forum in Sakai 堺市	2014.11.27
15	喘息・COPD合併症候群(ACOS)の鑑別法と有用なICS/LABAの選択と使用方法	久米裕昭	第5回関西喘息・COPDフォーラム 大阪市	2014.12.4
16	喘息の良好なコントロールを得るための薬物選択と服薬指導の実践	久米裕昭	第10回呼吸器フォーラム 愛媛県松山市	2015.1.17
17	喘息・COPD合併症候群(ACOS)の鑑別とSMART療法、それらの有用性と問題点	久米裕昭	第3回Asthma & COPD 講演会 堺市	2015.2.12
18	良好な喘息長期管理の為の薬剤選択とその使用方法～緊急診療を減らすために～	久米裕昭	呼吸器診療 Lecture Meeting in 成田 千葉県成田市	2015.2.13
19	喘息・COPD合併症候群(ACOS)の鑑別と薬理特性を活かした ICS/LABA の選択と使用方法	久米裕昭	大阪市南部呼吸器疾患フォーラム 大阪市	2015.2.14
20	喘息治療薬の新たな展開～抗コリン薬の有効性～	久米裕昭	スピリーバ®喘息適応追加記念講演会 大阪市	2015.3.21

研究業績：診療局 小児科

(1) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	Kasabach-Merritt現象を合併した後腹膜血管腫の1例	竹村 亮 山本真也 竹中朋代 今西洋介 山本昌周 和田芳郎 住田 裕	第19回 泉州小児科症例勉強会 岸和田市	2014.7.10
2	肺切除術に至った原発性肺膿瘍の1例	竹村 亮 山本真也 今西洋介 山本昌周 和田芳郎 住田 裕	第20回 泉州小児科症例勉強会 岸和田市	2015.2.19

## 研究業績：診療局 外科

### (1) 原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	Diversity in ultrasonics	Ito T	J Med Ultrasonics	41 (4)	409	2014
2	Phase II Study of S-1 in Combination with Trastuzumab for HER2-positive Metastatic Breast Cancer	Takashima T, Ito T, Nakayama T, Yoshidome K, Kawajiri H, Kamigaki S, Tsurutani J, Arai T, Komoike Y, Doi T, Masuda N, Miyauchi K, Miyoshi Y, Sakamoto J, Morita S, Taguchi T	ANTICANCER RESEARCH	34 (7)	3583-3588	2014
3	地域医療と国際診療の融合	伊豆蔵正明	全国自治体病院協議会雑誌	53 (8)	1295-1296	2014
4	乳房における造影超音波の果たす役割	位藤俊一	検査と技術	42 (7)	670-675	2014
5	乳房における造影超音波の果たす役割	位藤俊一	日本乳癌検診学会学会誌	23 (2)	284-289	2014
6	乳房超音波診断ガイドライン改訂第3版	位藤俊一	南江堂		1-167	2014
7	用語解説:造影超音波	位藤俊一	CANCER BOAD乳癌	7 (2)	84	2014
8	「Acute Care Surgeryセンター」の設立とその活動—日本におけるAcute Care Surgeryのありかた—	渡辺広明 山村憲幸 水島靖明 松岡哲也 位藤俊一 伊豆蔵正明	日腹部救急医学会誌	34 (5)	987-991	2014
9	保存的治療を施行した膿瘍形成性虫垂炎の小児例6例の超音波像	福井美穂 飯干泰彦 水野 均 児玉 匡 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本小児外科学会雑誌	50 (7)	1113-1118	2014

### (2) 学会研究会報告

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	誰でもできる造影超音波のコツ	位藤俊一	第17回阪神エコーレベルアップミーティング	2014.4.19
2	体表超音波診断 up to date (特別講演座長)	位藤俊一	第17回阪神エコーレベルアップミーティング	2014.4.19
3	同一症例にて浸潤癌、非浸潤癌、線維腺腫を造影乳腺超音波検査にて観察しえた一例	宇治公美子	第17回阪神エコーレベルアップミーティング	2014.4.19
4	胆石形成と胆汁フローを制御するclaudin-3ノックアウトマウスの解析	今里光伸 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 藤井亮知 児玉 匡 菊地浩輔 伊豆蔵正明	第100回日本消化器病学会総会	2014.4.23-26
5	Contrast Enhanced Ultrasonography	Ito T	ACOS2014	2014.5.2-4
6	Contrast-enhanced ultrasonography using Sonazoid for evaluation of the therapeutic efficacy of radiofrequency ablation treatment for primary breast cancer	Ito T	ACOS2014	2014.5.3-4

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
7	腫瘍形成性虫垂炎の形成および治癒のメカニズムに関する考察	福井美穂 飯干泰彦 水野 均 児玉 匡 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 位藤俊一 伊豆蔵正明	第51回日本小児外科学会学術集会	2014.5.8-10
8	小児回盲部腸間膜リンパ節炎の臨床像	寺村崇哉 飯干泰彦 水野 均 児玉 匡 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 菊地浩輔 位藤俊一 伊豆蔵正明	第51回日本小児外科学会学術集会	2014.5.8-10
9	Diagnostic Criteria (シンポジウム座長)	位藤俊一	International Breast Ultrasound Symposium Current Concepts in Breast Ultrasound	2014.5.9
10	乳腺領域における造影超音波の臨床応用の実際 (パネルディスカッション座長)	位藤俊一	第87回日本超音波医学会学術集会	2014.5.9-11
11	造影超音波による診療へのインパクト (シンポジウム座長)	位藤俊一	第87回日本超音波医学会学術集会	2014.5.9-11
12	Aplioで診る～最新技術による乳房へのアプローチ～ (ランチョンセミナー座長)	位藤俊一	第87回日本超音波医学会学術集会	2014.5.9-11
13	嚢胞性膀胱腫瘍の悪性度診断における造影超音波検査(CEUS)の有用性の検討	藤井 仁 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 岡山順司 西谷暁子 今里光伸 金 浩敏 藤井亮知 宇治公美子 今北正美 伊豆蔵正明	第87回日本超音波医学会学術集会	2014.5.9-11
14	当院における鼠径ヘルニアの術前超音波検査の評価	中村雅美 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 藤井亮知 伊豆蔵正明	第87回日本超音波医学会学術集会	2014.5.9-11
15	第8回ケースカンファレンス「次の一手は」 (モーニングセミナー座長)	位藤俊一	第32回日本乳腺甲状腺超音波医学会	2014.5.10-11
16	乳癌診療を支える超音波検査 (シンポジウム座長)	位藤俊一	第32回日本乳腺甲状腺超音波医学会	2014.5.10-11
17	内視鏡的整復後に腹腔鏡下腸切除術を施行しえた成人腸重積3例の検討	今里光伸 宇治公美子 藤井亮知 金 浩敏 藤井 仁 西谷暁子 岡山順司 山村憲幸 飯干泰彦 位藤俊一 伊豆蔵正明	第87回日本消化器内視鏡学会総会	2014.5.15-17
18	造影超音波が変える肝転移診断～乳がん診療を含めて～	位藤俊一	第50回日本肝臓研究会	2014.6.5-6
19	腹膜前腔にmesh留置後の再発症例に対する腹腔鏡下ヘルニア修復術(TAPP)	水野 均 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 児玉 匡 菊地浩輔 伊豆蔵正明	第12回日本ヘルニア学会学術集会	2014.6.6-7
20	一般演題、特別講演(座長)	伊豆蔵正明	第16回りんくう乳腺・内分泌研究会	2014.6.21
21	乳がん術前評価における造影超音波の経験	宇治公美子	第16回りんくう乳腺・内分泌研究会	2014.6.21
22	甲状腺濾胞性腫瘍における 造影超音波の経験	山本寛也	第16回りんくう乳腺・内分泌研究会	2014.6.21

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
23	静脈栄養時と新生児期の腸管バリアの変化 —粘液層の減少と腸管透過性の亢進—	飯干泰彦 位藤俊一 山村憲幸 岡山順司 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 藤井亮知 宇治公美子 伊豆蔵正明	第51回日本外科栄養代謝学会	2014.7.4-5
24	超音波を生かした乳癌診療の最前線	位藤俊一	第22回日本乳癌学会学術総会	2014.7.10-12
25	乳がん治療におけるソナゾイド®造影超音波 の意義	位藤俊一	第22回日本乳癌学会学術総会	2014.7.10-12
26	乳がん診療において造影超音波は何を変える か	位藤俊一	第22回日本乳癌学会学術総会	2014.7.10-12
27	エストロゲン受容体陽性乳癌を対象とした次 世代ディープシークエンシング法によるTP53 遺伝子変異解析	宇治公美子 直居靖人 加々良尚文 下田雅史 下村 淳 丸山尚美 島津研三 金 昇晋 野口眞三郎	第22回日本乳癌学会学術総会	2014.7.10-12
28	焼灼範囲決定に苦慮した非腫瘍性病変の一 例	宇治公美子 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 岡山順司 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 藤井亮知 伊豆蔵正明	第10回乳癌低侵襲治療研究会	2014.7.12
29	再発GISTに対する外科的治療介入の意義	西谷暁子 位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 児玉 匡 伊豆蔵正明	第69回日本消化器外科学会総会	2014.7.16-18
30	大腸癌肝転移に対するペバシズマブ併用化 学療法 of 早期治療効果判定の可能性:早期 造影画像検査の有用性	藤井 仁 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 岡山順司 西谷暁子 今里光伸 金 浩敏 藤井亮知 宇治公美子 今北正美 伊豆蔵正明	第69回日本消化器外科学会総会	2014.7.16-18
31	転移性大腸癌に対するS-1、Irinotecan、 Bevacizumab併用化学療法 (IRIS+Bvacizumab)の第Ⅱ相臨床試験	金 浩敏 村田幸平 井出義人 水島恒和 大橋一朗 長谷川順一 山本浩文 根津理一郎 土岐祐一郎 森 正樹	第12回日本臨床腫瘍学会学術集 会	2014.7.18
32	長期静脈栄養におけるポート感染に地域医療 連携下に対応した1例	左 信哲 飯干泰彦 岡山順司 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 藤井亮知 宇治公美子 位藤俊一 伊豆蔵正明	第6回日本静脈経腸栄養学会近 畿支部学術集会	2014.7.26
33	乳がん治療におけるソナゾイド®造影超音波 の意義	位藤俊一 水野 均 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 伊豆蔵正明	第52回日本癌治療学会学術集会	2014.8.28-30
34	当院における進行再発胃癌に対する nab-paclitaxel使用の経験	西谷暁子 山村憲幸 位藤俊一 水野 均 藤井 仁 今里光伸 藤井亮知 伊豆蔵正明	第52回日本癌治療学会学術集会	2014.8.28-30
35	局所進行下部直腸癌に対する術前 XELOX+Bvacizumab療法の検討	金 浩敏 長谷川順一 西村潤一 三宅泰裕 畑 泰司 竹政伊知朗 水島恒和 山本浩文 関本貢嗣 根津理一郎 土岐祐一郎 森 正樹	第52回日本癌治療学会学術集会	2014.8.28-30



番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
36	乳癌診療における造影超音波とインターベンション	位藤俊一	第8回三重乳腺画像診断研究会 学術講演会	2014.9.11
37	内視鏡的整復後に腹腔鏡下腸切除術を施行しえた成人腸重積の1例	曾根一真 今里光伸 宇治公美子 藤井亮知 金 浩敏 藤井 仁 西谷暁子 山村憲幸 飯干泰彦 位藤俊一 伊豆蔵正明	第601回大阪外科集談会	2014.9.20
38	当院で経験した過去8年における気管および大動脈食道瘻の11例	山村憲幸 北林克清 松江 一 伊豆蔵正明	第67回日本胸部外科学会定期学術集会	2014.9.30-10.3
39	乳腺4(一般演題座長)	位藤俊一	第33回日本乳腺甲状腺超音波医学会	2014.10.17-19
40	第9回ケースカンファレンス「次の一手は」(座長)	位藤俊一	第33回日本乳腺甲状腺超音波医学会	2014.10.17-19
41	センチネルリンパ節生検陽性症例の超音波所見の検討	宇治公美子 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 藤井亮知 伊豆蔵正明	第33回日本乳腺甲状腺超音波医学会	2014.10.17-19
42	乳がん検診, 精査における乳房造影超音波検査における有用性	位藤俊一	第24回日本乳癌検診学会学術総会	2014.11.7-8
43	当院における切除不能StageIV胃癌に対する集学的治療の確立	山村憲幸 位藤俊一 宇治公美子 藤井亮知 金 浩敏 今里光伸 藤井 仁 西谷暁子 岡山順司 飯干泰彦 伊豆蔵正明	第76回日本臨床外科学会総会	2014.11.20-22
44	乳癌診療の明日をひらく	位藤俊一	日本超音波医学会 第41回関西 地方会学術集会	2014.11.22
45	確実な病理診断のための超音波ガイド下インターベンションの工夫 (ワークショップ座長)	位藤俊一	日本超音波医学会 第41回関西 地方会学術集会	2014.11.22
46	コーヒーブレイクセミナー2 (座長)	位藤俊一	日本超音波医学会 第41回関西 地方会学術集会	2014.11.22
47	造影超音波を施行した骨化生乳癌の一例	高木麻衣 宇治公美子 藤井 仁 西谷暁子 飯干泰彦 山村憲幸 位藤俊一 伊豆蔵正明 今北正美	日本超音波医学会 第41回関西 地方会学術集会	2014.11.22
48	乳房腫瘍における造影超音波検査(CEUS)の有用性とダイナミックMRIの比較	中村雅美 位藤俊一 飯干泰彦 山村憲幸 西谷暁子 藤井 仁 今里光伸 金 浩敏 藤井亮知 宇治公美子 伊豆蔵正明	日本超音波医学会 第41回関西 地方会学術集会	2014.11.22
49	術前化学療法で病理学的完全奏功(pCR)を得たHER2陽性局所進行乳癌(Stage III C)の一例	谷本和紀	第17回りんくう乳腺・内分泌研究会	2014.12.2
50	Contrast-enhanced ultrasound for evaluation of therapeutic efficacy of radiofrequency ablation for primary breast cancer	Ito T, Jyunji O, Uji K, Izukur M.	SABCS2014	2014.12.9-13
51	一般演題、特別講演(座長)	位藤俊一	第17回りんくう乳腺・内分泌研究会	2014.12.20
52	セカンドルックUSにおける乳房造影超音波の意義(座長)	位藤俊一	乳房造影超音波Webフォーラム 2015	2015.1.31
53	乳腺診療における造影超音波の位置付け	位藤俊一	第34回日本画像医学会	2015.2.28

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
54	切除不能胃癌に対するConversion therapyの可能性	山村憲幸 藤井亮知 藤井 仁 西谷暁子 位藤俊一 伊豆蔵正明	第87回日本胃癌学会総会	2015.3.4-6
55	Her2陰性切除不能・再発胃癌に対するXP療法の経験	西谷暁子 山村憲幸 藤井 仁 藤井亮知 位藤俊一 伊豆蔵正明	第87回日本胃癌学会総会	2015.3.4-6
56	静脈栄養、経腸栄養と腸管のバリア	飯干泰彦	第20回泉州地区NST研究会	2015.3.7
57	乳房造影超音波 ―薬事認可から2年半―	位藤俊一	第33回東海超音波研究会	2015.3.22

### (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	今後の大腸癌 化学療法の展望 (座長、司会)	藤井 仁	泉州大腸がん治療懇話会	2014.4.17
2	サイコオンコロジーと緩和ケア (特別講演座長)	西谷暁子	第10回りんくう緩和ケア講演会	2014.6.11
3	造影超音波による乳がん診療の実際	位藤俊一	大阪市立大学関連病院講演会	2014.6.24
4	乳がんの診断・治療における造影超音波とインターベンション	位藤俊一	第19回新潟県の乳癌を考える会	2014.9.6
5	診断に難渋した指腸腫瘍の一例 症例提示とディスカッサー	藤井 仁	第5回泉州消化器フォーラム	2014.11.1
6	乳がん診療における造影超音波の実際	位藤俊一	北摂乳腺超音波画像セミナー	2014.11.14
7	大腸がん化学療法におけるBmabとC/Pmabの位置づけを考える (座長)	藤井 仁	南大阪大腸癌セミナー	2014.12.5
8	症例報告&ディスカッション (座長)	藤井 仁	南大阪大腸癌セミナー	2014.12.5
9	TAPP手術手技	藤井 仁	Covidien Satellite Conference	2014.12.8
10	胃癌のイロハ:胃粘膜障害から進行胃癌	山村憲幸	第10回りんくう外科連携セミナー	2015.1.14
11	漢方薬を用いた緩和医療の治療戦略(特別講演座長)	西谷暁子	第11回りんくう緩和ケア講演会	2015.1.21
12	造影超音波による切除範囲決定ー造影MRI施行不可患者でも施行可能な造影超音波ー	位藤俊一	乳房造影超音波Webフォーラム2015	2015.1.31
13	乳がん診療における造影超音波の位置付け	位藤俊一	宮城県乳房超音波画像Seminar	2015.2.6
14	乳癌診療における造影超音波の位置付け	位藤俊一	第24回中南和乳腺勉強会	2015.2.19

## 研究業績：診療局 整形外科

### (1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	京セラ製アルミナ-on-アルミナ cemented THA(ABS:alumina bearing surface システム)の10年以上の成績	澤田典与司 藪野互平 榎谷昭一	HipJoint	40	523-526	2014
2	UKA(Unicomartmental Knee Arthroplasty)における Navigation の脛骨コンポーネント設置精度	澤田典与司 藪野互平 渡邊真生 野上雅史 小瀬弘樹 金澤元宣	日本人工関節学会誌	44	647-648	2014
3	Opioid Induced Hyperalgesia(OIH)を疑った心臓原発骨肉腫の下顎骨転移の一例	濱本秀一 荒木信人 山田修太郎 大島和也 外堀 司 城山 晋	中部日本整形外科災害外科学会雑誌	57	1287-1288	2014

## 研究業績：診療局 心臓血管外科

### (1) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	Sheet and Glue methodを用いた急性A型大動脈解離に対する中枢側断端形成の有用性	後藤隆純 北林克清 山本淳平 松江 一	第44回日本心臓血管外科学会学術総会(熊本市) ポスター	2014.2.19-21
2	弓部置換・TEVAR施行後2年目に大動脈瘤食道瘻を形成した一例	後藤隆純 北林克清 山本淳平 松江 一	第42回日本血管外科学会学術総会(青森市) 口演	2014.5.21-23
3	high take-off anomalous origin を伴う RCA の上行大動脈起始部に発生した嚢状瘤に対する手術例	後藤隆純 北林克清 山本淳平 松江 一	第57回関西胸部外科学会学術集会(大阪) 口演	2014.6.19-20

## 研究業績：診療局 脳神経外科

### (1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	HELLO!ご近所ドクター	森内秀祐	ご近所ドクターBOOK保存版	2014年度版	18-19	2014
2	シリーズ21世紀の地域医療	森内秀祐	ニュースせんなん 2014年(平成26年)8月9日(土)	(3) 第1029号		2014
3	重症頭部外傷における凝固障害; その特徴と対処法	萩原 靖 水島靖明 松岡哲也	救急医学(へるす出版)	38	798-802	2014
4	CTでは硬膜下血腫が疑われた横静脈洞血栓症のMRI-T2強調画像	宗田高穂 川井正統 千田賢作 出原 誠 森内秀祐	神経内科	81(6)	696-697	2014
5	右側の橋梗塞で左上下肢の運動失調が出現した1例	宗田高穂 川井正統 千田賢作 出原 誠 森内秀祐	神経内科	82(3)	334-335	2015

### (2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	座長	森内秀祐	第67日本脳神経外科学会近畿支部学術集会(大阪)	2014.4.5
2	A case of the parent artery occlusion recanalization with suction thrombectomy during coil embolization of the cerebral ruptured aneurysm	Takanori Fukunaga, Shusuke Moriuchi, Yasushi Hagihara, Makoto Dehara, Takao Soda	23. European Stroke Conference(Nice France)	2014.5.6-9
3	肝癌多発性骨転移、脳転移例に包括的リハビリを実施し在宅療養可能となった症例	森内秀祐 櫛谷昭一	第51回日本リハビリテーション医学会学術集会(名古屋)	2014.6.5-7
4	内包後脚のラクナ梗塞により歩行困難となった一症例～Redcord Exerciseでの急性期理学療法法の展開～	大野直紀 藤野文崇 櫛谷昭一 森内秀祐	第51回日本リハビリテーション医学会学術集会(名古屋)	2014.6.5-7
5	脳実質体積変化から見た急性硬膜下血腫慢性期虚血性変化の検討	萩原 靖	第28回日本外傷学会(東京)	2014.6.25-26
6	ステント留置用Yコネクター固定版の有用性	出原 誠 行 正剛 千田賢作 川井正統 宗田高穂 萩原 靖 森内秀祐	第1回Neurosurgery Kinki 2014 日本脳神経血管内治療学会近畿地方会(豊中)	2014.9.5-6
7	座長	森内秀祐	第68回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会(豊中)	2014.9.6
8	脳腫瘍患者の術後てんかん発作管理におけるフェニトイン/ホスフェニトインナトリウム使用の有効性の検討	森内秀祐 出原 誠 福永貴典 千田賢作 川井正統 萩原 靖 宗田高穂	第48回日本てんかん学会学術集会(東京)	2014.10.2-3
9	脳動脈瘤コイル脳腫瘍患者術後てんかん管理におけるフェニトイン/ホスフェニトインナトリウム使用の有用性	森内秀祐 出原 誠 福永貴典 千田賢作 川井正統 萩原 靖	第73回日本脳神経外科学会総会(東京)	2014.10.9-11

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
10	脳動脈瘤コイル塞栓術におけるY-connector holder boardの有用性	出原 誠 行 正剛 千田賢作 川井正統 宗田高穂 萩原 靖 森内秀祐	第73回日本脳神経外科学会総会(東京)	2014.10.9-11
11	悪性髄膜腫に類似した、転移性脳腫瘍の一例	川井正統 出原 誠 千田賢作 萩原 靖 宗田高穂 今北正美 森内秀祐	第73回日本脳神経外科学会総会(東京)	2014.10.9-11
12	急性硬膜下血腫症例の遠隔期実質に見られる影響	萩原 靖 水島靖明 松岡哲也	第73回日本脳神経外科学会総会(東京)	2014.10.9-11
13	体幹外傷由来の線溶系亢進が頭部外傷に与える影響	萩原 靖 水島靖明 松岡哲也	第42回日本救急医学会総会(福岡)	2014.10.28-30
14	症例検討・ディスカッション座長	森内秀祐	Glidel Meet The Expert in 紀和・南大阪(堺)	2014.11.8
15	膠芽腫全摘後ギリアデル脳内留置による遷延性脳浮腫に対しアバスタチン投与が有効であった1例	川井正統	Glidel Meet The Expert in 紀和・南大阪(堺)	2014.11.8
16	司会	宗田高穂	第8回泉州脳神経COLOQUIA(泉佐野)	2014.11.20
17	脳腫瘍周術期てんかんコントロールにおけるホスフェニトインナトリウムの有効性の検討	森内秀祐 川井正統 出原 誠 千田賢作 萩原 靖 宗田高穂	第32回日本脳腫瘍学会学術集会(千葉)	2014.11.30 -12.2
18	MGMTメチル化陰性膠芽腫のカルムスチン脳内留置後脳浮腫に対するベバシツマブ奏効例	川井正統 出原 誠 千田賢作 萩原 靖 宗田高穂 森内秀祐	第32回日本脳腫瘍学会学術集会(千葉)	2014.11.30 -12.2
19	脳動脈瘤塞栓術でYコネクター固定板を使用する利点	出原 誠 行 正剛 千田賢作 川井正統 宗田高穂 萩原 靖 森内秀祐	第30回日本脳神経血管内治療学会(横浜)	2014.12.4-6
20	バクロフェン髄腔内投与療法における嚥下障害に対する効果	出原 誠 廣谷典子 一柳律子 宗田高穂 千田賢作 川井正統 萩原 靖 森内秀祐	第54回日本定位・機能神経外科学会(東京)	2015.1.16-17
21	下垂体腺腫術後にSAHを来したMDSの一例	川井正統 出原 誠 千田賢作 萩原 靖 宗田高穂 柿本綱之 森内秀祐	第13回関西間脳下垂体疾患研究会(大阪)	2015.2.7
22	座長	森内秀祐	第10回南大阪脳卒中診療研究会(泉佐野)	2015.2.21
23	右側の橋梗塞で左上下肢の運動失調が出現した1例	正林大希 宗田高穂 川井正統 千田賢作 出原 誠 萩原 靖 森内秀祐	第207回日本内科学会近畿地方会(大阪)	2015.3.7
24	頭部単純CTで硬膜下血腫が疑われ、MRI-T2*強調画像が診断に有用であった症例	宗田高穂 川井正統 千田賢作 出原 誠 森内秀祐	第40回日本脳卒中学会総会(広島)	2015.3.26-29

### (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	座長	森内秀祐	第4回南泉州神経フォーラム(泉佐野)	2014.5.10
2	泉州地域脳卒中連携バスによるシームレス医療の実践と脳出血について	森内秀祐	プラザキサ3周年発売記念講演会 in南大阪(堺)	2014.5.24
3	脳卒中患者における薬剤内服継続の重要性について	森内秀祐	第7回泉州地域リハ懇話会(岸和田)	2014.7.26
4	脳神経外科でのてんかん診療の実際ー脳腫瘍周術期のてんかん管理についてー	森内秀祐	てんかん病診連携懇話会(堺)	2014.10.30
5	周術期におけるホストインの使用法と効果	森内秀祐	エーザイ(株)・ノーベルファーマ社内勉強会(堺)	2014.11.20

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
6	痙縮に対するITB療法はどんな患者が対象か？	出原 誠	～ITB療法と脳卒中 up to date～ (泉佐野)	2014.11.22
7	座長	森内秀祐	～ITB療法と脳卒中 up to date～ (泉佐野)	2014.11.22
8	当院でのトレリーフの使用経験	宗田高穂	ハッピーフェイスセミナー(堺)	2014.12.6
9	ステント留置用Yコネクター固定板	出原 誠 行 正剛 千田賢作 川井正統 宗田高穂 萩原 靖 森内秀祐	第78回大阪大学脳神経外科関連 施設臨床懇話会(大阪)	2015.1.10
10	心原性脳塞栓症について	出原 誠	MR向けレクチャーミーティング(堺)	2015.2.19
11	スパズム予防のための輸液管理プロトコルと新しい循環指標	萩原 靖	第40回日本脳卒中学会総会イブ ニングセミナー(広島)	2015.3.26-29

## 研究業績：診療局 形成外科

### (1) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	イミキモド外用にて著効を認めた陰部Paget病の1例	前田大介 服部 亮	第108回関西形成外科学会学術集会	2014.12.21

## 研究業績：診療局 呼吸器外科

### (1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年 月
1	リンパ節転移を伴った低悪性度粘表皮癌の1例	別所俊哉 桂 浩 百武 威	日本呼吸器外科学会雑誌	28(7)	961-5	2014.11

### (2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	心膜パッチを用いて肺動脈形成を行った左上葉肺癌の1例	桂 浩 別所俊哉 百武 威	第31回日本呼吸器外科学会総会	2014.5.29
2	感染性巨大ブラを契機とした難治性肺化膿症に対して手術治療を行った1例	百武 威 桂 浩 別所俊哉	第31回日本呼吸器外科学会総会	2014.5.30
3	横隔膜交通症による難治性肝性腹水を胸腹部鏡視下手術により救命しえた1例	百武 威 桂 浩 別所俊哉	第27回日本内視鏡外科学会総会	2014.10.4

### (3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	呼吸器外科の周術期管理	桂 浩	2015.3.24

## 研究業績：診療局 泌尿器科

### (1) 論文発表

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年 月 日
1	Zoledronic acid prevents decreases in bone mineral density in patients with prostate cancer undergoing combined androgen blockade.	Nishizawa S, Inagaki T, Iba A, Kikkawa K, Kodama Y, Matsumura N, Kohjimoto Y, Hara I.	Springerplus	3	586	2014.10.8

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年月日
2	External validation of European Organization for Research and Treatment of Cancer and Spanish Urological Club for Oncological Treatment scoring models to predict recurrence and progression in Japanese patients with non-muscle invasive bladder cancer treated with bacillus Calmette- Guérin.	Kohjimoto Y, Kusumoto H, Nishizawa S, Kikkawa K, Kodama Y, Ko M, Matsumura N, Hara I.	Int J Urol.	21(12)	1201-7	2014.12

(2) 学会研究会報告

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	りんくう総合医療センターにおける膀胱癌に対する膀胱全摘症例の検討	○西澤 哲 森山泰成 萩野恵三	第102回日本泌尿器科学会総会	2014.4.25 神戸市
2	転移性腎癌に対する分子標的治療薬/サイトカインの低容量投与の試み	○萩野恵三 西澤 哲 森山泰成	第79回日本泌尿器科学会東部総会	2014.10.14 横浜市
3	りんくう総合医療センターにおける膀胱癌に対する膀胱全摘症例の検討	○森山泰成 西澤 哲 萩野恵三	第66回日本泌尿器科学会西日本総会	2014.11.7 岡山県

(3) 学術講演

番号整理	演題	発表者	発表場所及び対象	年月日
1	『尿路結石症について』	○萩野恵三	市民公開講座	2015.1.17 泉佐野市
2	『性感染症について』	○萩野恵三	神戸薬科大学 生涯研修会	2015.2.15 和歌山市

**研究業績：診療局 耳鼻咽喉科**

(1) 原著、総説、著書

番号整理	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	化学放射線療法後の救済頸部郭清術と術前エコーガイド下穿刺吸引細胞診	碓田猛真 宝上竜也 野村直孝 中原 啓 榎本雅夫	頭頸部癌	40(4)	464-467	2014
2	アニサキスアレルギーの2例	近藤俊輔 碓田猛真 中原 啓 榎本雅夫 赤澤幸典 鈴木幹男	耳鼻咽喉科臨床	107(7)	563-567	2014

(2) 学会研究会報告

番号整理	演題	発表者	学会・研究会名	年月日
1	放射線化学療法後の救済頸部郭清術と術前エコーガイド下穿刺吸引細胞診	碓田猛真 宝上竜也 夜陣真司 中原 啓 榎本雅夫	第115回日本耳鼻咽喉科学会総会	2014.5.14-17 福岡市
2	覚醒下ABRの使用経験	中原 啓 間 三千夫 碓田猛真 夜陣真司 宝上竜也 河野 淳 榎本雅夫	第115回日本耳鼻咽喉科学会総会	2014.5.14-17 福岡市
3	当科における小児へのメドエル社製RONDONの装用経験	間 三千夫 中原 啓 碓田猛真 宝上竜也 河野 淳 榎本雅夫	第115回日本耳鼻咽喉科学会総会	2014.5.14-17 福岡市
4	人工内耳装用児に対するコードレス型スピーチプロセッサの使用経験	中原 啓 間 三千夫 河野 淳	第9回日本小児耳鼻咽喉科学会	2014.6.6-7 浜松市
5	難聴児療育に対する医療機関の役割についての考察	間 三千夫 中原 啓 河野 淳	第9回日本小児耳鼻咽喉科学会	2014.6.6-7 浜松市
6	当科における甲状腺エコー下穿刺吸引細胞診の現況	宝上竜也 野村直孝 中原 啓 碓田猛真 榎本雅夫	第329回日耳鼻大阪地方連合会	2014.6.7 大阪市

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
7	放射線化学療法後の救済頸部郭清術と術前エコーガイド下穿刺吸引細胞診	碓田猛真 宝上竜也 夜陣真司 中原 啓 榎本雅夫	第38回日本頭頸部癌学会	2014.6.12-13 東京
8	筑波大学におけるBNCT臨床研究再開計画について	田中圭一 栗飯原輝人 熊田博明 福光延吉 奥村敏之 石川 仁 大西かよ子 水本齊志 沼尻晴子 和田哲郎 原 晃 碓田猛真 鈴木 実 櫻井英幸	第38回日本頭頸部癌学会	2014.6.12-13 東京
9	Early intervention with cochlear Implant for hearing impaired children referred by newborn screening: Evaluation of auditory and behavioral examinations	Nakahara, K., Hazama, M., Sakoda, T., Yajin, S., Hojo, T., Kawano, A., Suzuki, M., Kitano, H., Enomoto, T.	13th International Conference on Cochlear Implants and Other Auditor Implantable Technologies (CI 2014)	2014.6.18-21 Munich, Germany
10	MED-EL RONDO clinical study in children: at Rinku General Medical Center in Japan	Hazama, M., Nakahara, K., Sakoda, T., Hojo, T., Kawano, A., Enomoto, T.	13th International Conference on Cochlear Implants and Other Auditor Implantable Technologies (CI 2014)	2014.6.18-21 Munich, Germany
11	覚醒下ABRの使用経験	中原 啓 碓田猛真 夜陣真司 宝上竜也 河野 淳 榎本雅夫	第76回耳鼻咽喉科臨床学会	2014.6.26-27 盛岡市
12	放射線化学療法後の救済頸部郭清術と術前エコーガイド下穿刺吸引細胞診	碓田猛真 宝上竜也 中原 啓 榎本雅夫	第12回日本臨床腫瘍学会	2014.7.17-19 福岡市
13	Bondy術後耳に対する補聴器フィッティングの試み	中原 啓 野村直孝 宝上竜也 碓田猛真 榎本雅夫	第330回日耳鼻大阪地方連合会	2104.9.6 大阪市
14	ネオアレルゲンFel d1の測定	榎本雅夫 中原 啓 宝上竜也 野村直孝 碓田猛真 深田一剛 嶋田貴志	第330回日耳鼻大阪地方連合会	2104.9.6 大阪市
15	上縦隔に進展した副甲状腺嚢胞の1例	野村直孝 中原 啓 宝上竜也 碓田猛真 榎本雅夫	第330回日耳鼻大阪地方連合会	2104.9.06 大阪市
16	過緊張性発声障害治療に対する心理学的アプローチ	間 三千夫 中原 啓 碓田猛真 河野 淳 北野博也	第59回日本音声言語医学会	2014.10.9-10 福岡市
17	当科で介入を試みた機能性失声症例の検討	中原 啓 間 三千夫 碓田猛真 河野 淳 北野博也	第59回日本音声言語医学会	2014.10.9-10 福岡市
18	補聴器の管理・販売に関するアンケート調査	中原 啓 間 三千夫 野村直孝 宝上竜也 碓田猛真 河野 淳 榎本雅夫	第59回日本聴覚医学会	2104.11.27-28 下関市
19	新生児スクリーニング後の療育体制の問題点ー南大阪地区を例としてー	間 三千夫 中原 啓 野村直孝 宝上竜也 碓田猛真 河野 淳 榎本雅夫	第59回日本聴覚医学会	2104.11.27-28 下関市
20	当科における原発不明非扁平上皮癌頸部転移の治療経験	碓田猛真 野村直孝 宝上竜也 中原 啓 榎本雅夫	第331回日耳鼻大阪地方連合会	2014.12.6 大阪市

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
21	咽頭出血を契機に診断されたフォンウィルブラント病の一例	野村直孝 宝上竜也 中原 啓 碓田猛真 榎本雅夫	第332回日耳鼻大阪地方連合会	2015.3.7 大阪市
22	術前ピオクタミン嚥下が有用であった下咽頭梨状窩瘻の一例	宝上竜也 野村直孝 中原 啓 碓田猛真 榎本雅夫	第332回日耳鼻大阪地方連合会	2015.3.7 大阪市

### (3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	第168回臨床集談会 「頭頸部放射線化学療法について」	碓田猛真	2014.5.22
2	声帯の疾患	宝上竜也	2014.6.26
3	甲状腺の病気	宝上竜也	2014.8.1
4	口蓋扁桃とアデノイド	野村直孝	2014.10.1
5	人工内耳	碓田猛真	2014.9.10
6	気管切開のあれこれ	宝上竜也	2015.2.10

## 研究業績：診療局 口腔外科

### 1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	The effect of proteolytic enzyme-containing gargling agents on severe stomatitis caused by therapy for head and neck cancer	OHMAE, Masatoshi KATO, Itsuro NAKAZAWA, Mitsuhiro	J Clin Oncol	32:5s, (suppl; abstr)	6051	2014
2	Boron neutron capture therapy in patients with recurrent head and neck cancers who have no other treatment options	Itsuro Kato, Yusei Fujita, Masatoshi Ohmae, Yoshinori Sakurai, Minoru Suzuki, Shin-ichiro Masunaga, Isao Murata, Tetsuro Sumi, Mitsuhiro Nakazawa, Koji Ono	J Clin Oncol	32:5s, (suppl; abstr)	6046	2014
3	小切開小剥離 下顎智歯抜歯のススメ	大前政利	大阪府歯科医師会 雑誌	2014.11月号	50-52	2014
4	Clinical Studies on BNCT for 9 Cases of Head and Neck Cancer	I. Kato, N. T. Iwagami, N. Yamamoto, Y. Fujita, M. Ohmae, M. Suzuki, S. Masunaga, M. Nakazawa, T. Sumi, A. Maruhashi and K. Ono	KURRI Progress Report 2013, in press			2014
5	治療のない再発口腔がんに対するホウ素中性子捕捉療法の有用性	加藤逸郎 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 今井智章 千足浩久 墨 哲郎 中澤光博 小野公二 鈴木 実	定位放射線治療	Vol. 19	15-25	2015



## (2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	『有効な治療法がない再発頭頸部癌患者に対するホウ素中性子捕捉療法の有用性』	加藤逸郎 多田晋也 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 櫻井良憲 墨 哲郎 中澤光博 今井智章 岩井聡一 鈴木 実 由良義明	第68回日本口腔科学会学術集会(東京)	2014.5.7-9
2	『再発頭頸部癌患者に対するホウ素中性子捕捉療法の適応と有効性について』	加藤逸郎 多田晋也 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 千足浩久 墨 哲郎 中澤光博 今井智章 岩井聡一 鈴木 実 小野公二 由良義明	第68回日本口腔科学会学術集会(東京)	2014.5.8
3	The effect of proteolytic enzyme-containing gargling agents on severe stomatitis caused by therapy for head and neck cancer	OHMAE, Masatoshi KATO, Itsuro NAKAZAWA, Mitsuhiro	2014 ASCO Annual Meeting McCormick Place, Chicago, Illinois, USA IAOO 2013 (Rhodos, Greek)	May.30 -June.3.2014
4	Boron neutron capture therapy in patients with recurrent head and neck cancers who have no other treatment options.	Itsuro Kato, Yusei Fujita, Masatoshi Ohmae, Yoshinori Sakurai, Minoru Suzuki, Shin-ichiro Masunaga, Isao Murata, Tetsuro Sumi, Mitsuhiro Nakazawa, Koji Ono;	2014 ASCO Annual Meeting McCormick Place, Chicago, Illinois, USA	May 30 -June.3.2014
5	Assessment of Carotid Invasion of Head and Neck Cancer to be Treated with Boron Neutron Capture Therapy	Masatoshi Ohmae, Itsuro Kato, Teruhito Aihara, Minoru Suzuki, Koji Ono	16th ICTNCT 2014	June 14-19, at Helsinki, Finland
6	Boron Neutron Capture Therapy in Patients with Recurrent Head and Neck Cancers Who Have No Other Treatment Options	I. Kato, T. Iwagami, Y. Fujita, M. Ohmae, Y. Sakurai, M. Suzuki, I. Murata, T. Sumi, S. Iwai, M. Nakazawa, Yoshiaki Yura, K. Ono	16th ICTNCT 2014	June 14-19, at Helsinki, Finland
7	有効な治療法がない再発口腔がん患者に対するホウ素中性子捕捉療法の有用性	加藤逸郎 多田晋也 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 櫻井良憲 墨 哲郎 中澤光博 今井智章 岩井聡一 村田 勲 小野公二 鈴木 実 由良義明	第23回日本定位放射線治療学会(ナレッジキャピタルCC、大阪)	2014.7.5-6

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
8	有効な治療のない再発頭頸部癌患者に対するホウ素中性子捕捉療法の有用性	加藤逸郎 多田晋也 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 櫻井良憲 墨 哲郎 中澤光博 今井智章 岩井聡一 村田 勲 小野公二 鈴木 実 由良義明	第11回日本中性子捕捉療法学会学術大会(大阪大阪大学コンベンションセンター)	2014.7.5-6
9	中性子捕捉療法が奏功した再発下顎歯肉癌の一例	内田堅一郎 宮本寿太郎 松村真由美 真野隆充 加藤逸郎 大前政利 鈴木 実 上山吉哉	第11回日本中性子捕捉療法学会学術大会(大阪大学コンベンションセンター)	2014.7.5-6
10	舌癌頸部再発および肺遠隔転移に対するホウ素中性子捕捉療法の使用経験	鳴瀬智史 柳本惣市 山田慎一 川北晃子 梅田正博 加藤逸郎 由良義明 大前政利	第11回日本中性子捕捉療法学会学術大会(大阪大学コンベンションセンター)	2014.7.5-6
11	治療のない再発頭頸部がん患者に対するホウ素中性子捕捉療法の有効性	加藤逸郎 多田晋也 岩上隆紀 山本直典 藤田祐生 大前政利 千足浩久 墨 哲郎 中澤光博 岩井聡一 由良義明 小野公二 鈴木 実	第52回日本癌治療学会総会(横浜パシフィコ)	2014.8.28-30
12	平成23年度以後のBNCT症例	加藤逸郎1 山本直典1 藤田祐生1 大前政利 2 櫻井良憲3 熊田博明4 岩井聡一1 墨 哲郎1 中澤光博1 丸橋 晃3 今堀良夫5,6 切畑光統7 小野公二3	平成26年度京都大学原子炉実験所専門研究会 事務棟大会議室(熊取町)	2014.9.29-30

### (3) 学術講演

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	三文得する口腔疾患の知識 ー口腔顎顔面の病気と癌の話ー	大前政利	阪南市学校保健会総会 阪南市商工会議所(阪南市)	2014.7.31
2	頭頸部癌の諦めない癌治療	大前政利	口腔外科粒子線・BNCTコンソーシアム 幕張メッセ(千葉)	2014.10.18

### (4) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	研修医オリエンテーション	大前政利	2014.4.3
2	生活習慣病『糖尿病と肢種苗』	大前政利	2014.6.5
3	臨床集談会「ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)の現状」	大前政利	2014.9.25

## 研究業績：診療局 麻酔科

### (1) 原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	COMPARISON OF RECOVERY TIME OF DESFLURANE ANESTHESIA WITH SEVOFLURANE ANESTHESIA DURING CONTINUOUS INFUSION OF REMIFENTANIL.	Shunji Kobayashi, Y. Ishiyama, K. Tsuruno, S. Osato, N. Ishii, N. Maruyama, M. Morimoto	Anesthesia Analgesia	120(3)	S-31	2015

## (2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	プロポフォールの就眠時効果部位濃度の予測における インピーダンス心拍出量モニター Bioz.comの有効性の検討	足立匡司 小林俊司	日本臨床モニター学会総会	2014.4.18-19
2	TKA術後の持続大腿神経ブロックにおける塩酸レボピバカイン濃度の至適濃度(運動神経ブロックと鎮痛を指標として)	森本正昭 井戸和己 足立匡司 久場良彦 小林俊司	日本麻酔科学会第61回学術集会	2014.5.15-17
3	難治性心室細動に有効であった星状神経節ブロックの治療効果が無効化した症例	大里真之輔 森本正昭 井戸和己 足立匡司 小林俊司	日本臨床麻酔学会第34回大会	2014.11.1-3
4	COMPARISON OF RECOVERY TIME OF DESFLURANE ANESTHESIA WITH SEVOFLURANE ANESTHESIA DURING CONTINUOUS INFUSION OF REMIFENTANIL	Shunji Kobayashi, Y. Ishiyama, K. Tsuruno, S. Osato, N. Ishii, N. Maruyama, M. Morimoto	IARS 2015 Annual Meeting AND International Science Symposium	2015.3.21-24

## (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	麻酔科学	小林俊司	関西医療大学 特別講義	2014.6.12

## (4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	第178回臨床集談会「周術期における末梢神経ブロック」	井戸和己	2015.3.26

## 研究業績：診療局 国際診療科

## (1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年 月
1	外国人母子の医療ニーズー国際診療の現場からー	南谷かおり	保健の科学	56(4)	229-232	2014
2	地域医療における国際化	南谷かおり	大阪大学学友会会誌	(34)	68-71	2014
3	国際診療科での看護師の活動と役割、患者とのコミュニケーション	新垣智子	継続看護時代の外来看護	19(3)	122-128	2014.8
4	医療チームの中の通訳者ー泉州広域母子医療センターとのコラボレーションー	新垣智子 南 陽子 鐘ヶ江有香 榎本若葉 東山巴奈子 清田智子 福島ひとみ	保健の科学	56(12)	800-806	2014.12
5	りんくう総合医療センターにおける外国人診療	南谷かおり	全国自治体病院協議会雑誌	54(2)	6-11	2015.2
6	日本医学英語検定試験3・4級教本	入交重雄 (編集協力)	日本医学英語教育学会 編	第3版		2015.3

## (2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	医療通訳士の教育ー養成カリキュラムについてー	南谷かおり	第7回医療通訳士協議会(JAMI)総会	2014.7.5
2	りんくう総合医療センターの医療通訳者教育	南谷かおり	第7回医療通訳士協議会(JAMI)総会	2014.7.5
3	医療通訳士による医療通訳士のためのネットワーク分科会	新垣智子 (ファシリテーター)	第7回医療通訳士協議会(JAMI)総会 JAMI・大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部国際医療センター(CGHI) 合同シンポジウム	2014.7.5
4	海外での医療援助、国際医療研究	南谷かおり (座長)	第29回びわ湖国際医療フォーラム	2014.7.6
5	国内の外国人医療、通訳、ボランティア活動	入交重雄 (座長)	第29回びわ湖国際医療フォーラム	2014.7.6

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
6	死亡事例から考える医療通訳者の教育&メンタルケアの必要性	張鈺豊	第29回びわ湖国際医療フォーラム	2014.7.6
7	米国の医療制度	入交重雄 (座長)	第30回びわ湖国際医療フォーラム	2015.1.24

### (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	Medical Care Beyond Borders	南谷かおり	大阪大学国際医療シンポジウム Go Global !! 3、Hotel Taj Campton Place (サンフランシスコ)	2014.8.30
2	医療コーディネーターの活用とJMIP取得の効果	南谷かおり	JMIP国際医療交流シンポジウム、大手町ファーストスクエアカンファレンス	2014.10.6
3	大阪大学医学部附属病院での外国人患者受け入れへの取り組み	南谷かおり	Medical Excellence Japan 大阪セミナー、グランフロント	2014.12.17
4	医療通訳に必要な知識や技術について	南谷かおり	浜松多文化共生センター	2015.1.23
5	外国人医療の現状と課題 ー医療従事者のための外国人との接し方講座ー	南谷かおり 新垣智子	静岡市済生会総合病院	2015.1.23
6	外国人医療における国際医療コーディネーターの役割	南谷かおり	第30回びわ湖国際医療記念フォーラム、ピアザ淡海	2015.1.24
7	りんくう総合医療センターの外国人診療	南谷かおり	万国医療津梁協議会、那覇	2015.3.17

### (4) 講義

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	異文化の人々と協働する国際看護	新垣智子	日本看護協会 ラダーII～IV対象研修	2014.5.30
2	国際看護	新垣智子	奈良医科大学看護学部	2014.7.18
3	医療の国際化	南谷かおり	大阪大学中ノ島センター 関西6大学連携社会教育プログラム	2014.8.22
4	医療の国際化	南谷かおり	大阪大学大学院医学系研究科 国際・未来医療学講座 豊中キャンパス	2014.10.1
5	国際看護学	新垣智子	大阪警察病院看護専門学校	2014.10.2
6	医療通訳コーディネーター入門 外国人医療の現状:ナースとして	新垣智子	神戸市外国語大学	2014.10.8
7	国際看護学	新垣智子	公立八鹿病院看護専門学校 看護学生	2014.10.21
8	医療通訳に必要な知識	南谷かおり	大阪大学大学院医学系研究科 国際・未来医療学講座	2014.11.6
9	看護と国際化	新垣智子	大阪市立大学看護系同窓会よつば会	2014.11.8
10	医療現場に役立つ日本語研修	新垣智子	兵庫県国際交流協会	2014.12.8
11	国際看護学	新垣智子	大阪大谷大学薬学部 看護学概論	2014.12.15
12	国際看護学概論II	新垣智子	京都医療センター附属京都看護助産学校	2015.1.15
13	『大阪大学附属病院「国際医療センター」など医療通訳の取り組み』	南谷かおり	大阪国際交流センター 平成26年度「国際交流人材養成講座」	2015.1.29
14	公立南丹看護専門学校卒業記念講演	新垣智子	公立南丹看護専門学校 看護学生	2015.3.3
15	地域支援者対象 外国籍住民支援講座	新垣智子	MEDINT医療通訳研究会	2015.3.14
16	笑顔で外国人患者を受け入れよう	新垣智子	MEDINT医療通訳研究会	2015.3.15
17	医療現場に役立つ日本語研修	新垣智子	三木市国際交流協会	2015.3.28

### (5) メディア紹介

番号整理	演 題	種 類	年 月 日
1	医療通訳を取り巻く新しい動きは？ ー厚労省が乗り出したのは大きい。現在の問題点改善に期待ー	医学・薬学の翻訳・通訳完全ガイドブック	2014.4.30

## 研究業績：診療局 救命診療科

### (1) 原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	救急隊現着時に痙攣が持続している小児を救命救急センターへ搬送する事の有効性	安達晋吾 問田千晶 六車 崇 松岡哲也	日本臨床救急医学会雑誌	17(5)	649-655	2014
2	特集:わが国においてAcute Care Surgeryをいかに整備するか?「Acute Care Surgeryセンター」設立とその活動 -日本におけるAcute Care Surgeryのあり方-	渡部広明 山村憲幸 水島靖明 松岡哲也 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本腹部救急医学会雑誌	34(4)	987-991	2014
3	Damage control resuscitationのための基本知識 1.Damage control surgeryと Abdominal compartment syndrome Damage control surgery における Open abdomen management	渡部広明	救急・集中治療	26 (7・8)	1004-1011	2014
4	Surgical Strategy and Treatment for Trauma(SSTT)座学1日コースの有用性	成田麻衣子 渡部広明 井戸口孝二 水島靖明 松岡哲也	Japanese Journal of Acute Care Surgery (JJACS) (日本Acute Care Surgery学会)学会誌	4(1)	82-87	2014
5	当院におけるOpen abdomenの治療戦略	菱川恭子 水島靖明 中尾彰太 渡部広明 松岡哲也	Jpn J Acute Care Surg	4	4-10	2014
6	情報通信技術を活用して構築した救急搬送者登録システムの有用性	中尾彰太 松岡哲也 中田孝明 片山祐介	日本救急医学会雑誌	25(9)	693-702	2014
7	重症腹膜炎のopen abdomen 管理にVAC療法を併用した1例	菱川恭子 水島靖明 中尾彰太 渡部広明 松岡哲也	日本腹部救急医学会雑誌	34(5)	1075-1078	2014
8	第2章外傷治療戦略 1.蘇生に必要な治療戦略	渡部広明	外傷専門診療ガイドライン		19-31	2014
9	第2章外傷治療戦略 2.損傷部位別の治療戦略 ⑤腹部外傷治療戦略	渡部広明	外傷専門診療ガイドライン		80-81	2014
10	第2章外傷治療戦略 2.損傷部位別の治療戦略 ⑤腹部外傷治療戦略	井戸口孝二	外傷専門診療ガイドライン		81-99	2014
11	第2章外傷治療戦略 2.損傷部位別の治療戦略 ⑤腹部外傷治療戦略	比良英司	外傷専門診療ガイドライン		100-121	2014
12	第3章外傷治療戦術 1.蘇生に必要な治療戦術 ②蘇生的手術abbreviated surgery (DC1)	渡部広明	外傷専門診療ガイドライン		244-248	2014
13	第3章外傷治療戦術 3.外傷患者における集中治療管理 ①気道・呼吸管理 II呼吸管理 5.急性呼吸窮迫症候群	成田麻衣子	外傷専門診療ガイドライン		275-280	2014
14	第5章off-the-job training 1.既存コースの特徴 ②国内のコース 1.Surgical Strategy and Treatment for Trauma (SSTT)コース	渡部広明	外傷専門診療ガイドライン		397-400	2014
15	SSTT	渡部広明	救急医学	38	439-442	2014
16	重症頭部外傷における凝固障害;その特徴と対処法	萩原 靖 水島靖明 松岡哲也	救急医学	38(4)	798-802	2014
17	The risk of pediatric bicycle handlebar injury compared with non-handlebar injury: a retrospective multicenter study in Osaka, Japan	Hirose T, Ogura H, Kiguchi T, Mizushima Y, et. al.	Scandinavian Journal of Trauma, Resuscitation and Emergency Medicine	23	66	2015
18	open abdomen managementの合併症、予後に関する後ろ向き多施設共同研究	水島靖明 増永直久 その他	日救急医学会誌	26	116-24	2015

## (2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	小児重症外傷におけるダメージコントロール戦略	渡部広明	第51回日本小児外科学会	2014.5.8
2	搬送先選定困難例を検証し問題点を地域で共有する体制整備の試み	中尾彰太	第17回日本臨床救急医学会総会	2014.6.1
3	外傷診療診療におけるハイブリッド治療の現状	井戸口孝二	第17回日本臨床救急医学会総会	2014.6.1
4	外傷外科手術治療戦略(SSTT)コース開催前後での初期診療の比較検討	加藤京子	第17回日本臨床救急医学会	2014.6.1
5	病院前重症外傷患者診察における救急救命士・通信指令室員と医師・看護師連携について	松浦治人	第17回日本臨床救急医学会	2014.6.1
6	鈍的胸部大動脈損傷に対する企業性ステントグラフトを用いたTEVARの現状	井戸口孝二	第43回日本IVR学会	2014.6.6
7	初期輸液療法の投与量の検討	水島靖明	第28回日本外傷学会 パネルディスカッション	2014.6.25
8	外傷外科手術治療戦略(SSTT)コースの理念に基づく外傷診療の臨床的効果	比良英司	第28回日本外傷学会	2014.6.25
9	重症外傷に特化したドクターカー覚知同時要請システムの臨床的効果	成田麻衣子	第28回日本外傷学会	2014.6.26
10	膝損傷の新たな治療戦略～膝外傷におけるstaged surgeryの積極的応用～	布施貴司	第28回日本外傷学会	2014.6.26
11	脳実質体積変化から見た急性硬膜下血腫による慢性期虚血性変化の検討	萩原 靖	第28回日本外傷学会	2014.6.26
12	ドクターカー覚知同時出動が治療戦略の早期決定に寄与した症例	福間 博	第110回近畿救急医学会研究会	2014.7.12
13	非チフス性サルモネラによる重症敗血症性ショックの3例	斎藤 至	第110回近畿救急医学会研究会	2014.7.12
14	Usefulness of hyperglycemia as a triage tool at incident sites	Yasuaki Mizushima	The 12th Asian Pacific Conference on Disaster Medicine	2014.9.17
15	Multiple Casualty Incident in the Medical District of Senuu in Japan	Maiko Narita	The 12th Asian Pacific Conference on Disaster Medicine	2014.9.18
16	我が国におけるAcute Care Surgery研修カリキュラム	渡部広明	第6回日本Acute Care Surgery学会	2014.9.20
17	小児の主膝管断裂を伴う膝頭部十二指腸損傷に対する新たな手術戦略・戦術	成田麻衣子	第6回日本Acute Care Surgery学会	2014.9.21
18	若手外科医の考えるAcute Care Surgery研修	石井健太	第6回日本Acute Care Surgery学会	2014.9.21
19	A new experimental model and application of endograft for lethal hemorrhage of juxtahepatic inferior vena cava injury in a swine model	Koji Idoguchi	CIRSE2014	2014.9.13-17
20	急性硬膜下血腫症例の遠隔期脳実質に見られる影響	萩原 靖	第73回日本脳神経外科学会総会	2014.10.9
21	Hypermucoviscosity phenotype の Klebsiella pneumoniaeによる肝膿瘍、脳膿瘍、敗血症性肺塞栓症の重症例	比良英司	第62回日本化学療法学会西日本支部総会	2014.10.23
22	外傷患者におけるショックの指標として、脈拍数の有用性？	水島靖明	第42回日本救急医学会総会 パネル	2014.10.28
23	重症多発外傷における輸液反応性を指標にした循環管理の臨床的応用	渡部広明	第42回日本救急医学会総会	2014.10.28
24	関西空港における救急要請例の検討	斎藤 至	第42回日本救急医学会総会	2014.10.28
25	体幹外傷由来の線溶系亢進が頭部外傷に与える影響	萩原 靖	第42回日本救急医学会総会	2014.10.28
26	心停止で来院し、診断に難渋した気管軟化症の1例	成田麻衣子	第42回日本救急医学会総会	2014.10.29
27	病院前救急診療のための新しい情報共有システム	中田孝明	第42回日本救急医学会総会	2014.10.30
28	大量輸血戦略におけるドクターカー覚知時出動の～FFP投与開始時間の検討より～	中尾彰太	第42回日本救急医学会総会	2014.10.30

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 ・ 研 究 会 名	年 月 日
29	重症外傷に特化したドクターカー覚知同時要請システム運用による病院前診療の検討	布施貴司	第42回日本救急医学会総会	2014.10.30
30	救命救急センターにおける外傷初療時血中IL-9値測定の有用性の検討	谷口昌志	第42回日本救急医学会総会	2014.10.30
31	関西国際空港のfright-associated medical emergency症例の検討	斎藤 至	第21回日本航空医療学会総会	2014.11.15
32	SSTTコースの理念に基づく外傷診療の臨床的効果	比良英司	第32回近畿外傷診療フォーラム	2014.11.29
33	Fluid resuscitation of Trauma Patients	Yasuaki Mizushima	Ulsan Metropolitan City Advanced Trauma Symposium	2014.12.12
34	VAC療法を併用した広範囲熱傷の治療経験	成田麻衣子	第23回日本熱傷学会近畿地方会	2015.1.10
35	肝膿瘍による敗血症性多臓器不全に対してVV-ECMOを使用した1救命例	勝原和博	第42回日本集中治療医学会学術集会	2015.2.9
36	外傷後に生じた遅発性前脛骨動脈仮性瘤破裂に対して、B-glueにて塞栓し得た一例	谷口昌志	第58回関西IVR研究会	2015.2.28
37	右胃大網動脈瘤破裂によりショックを呈した若年女性の1例	山田菜美	第51回日本腹部救急医学会総会	2015.3.5
38	重症鈍的腹部骨盤外傷におけるTAEの位置づけ	中尾彰太	第51回日本腹部救急医学会総会	2015.3.5
39	重症膝頭部損傷におけるダメージコントロール戦略(damage control strategy:DCS)と多段階手術戦略(staged surgery strategy:SSS)	渡部広明	第51回日本腹部救急医学会総会	2015.3.6
40	Surgical Strategy and Treatment for Trauma(SSTT)コース(外傷外科手術治療戦略コース)とon-the-job trainingのコンビネーション	渡部広明	第111回近畿救急医学会研究会	2015.3.7
41	結核性髄膜炎を発症した妊婦の1例	新谷絃司	第111回近畿救急医学会研究会	2015.3.7

### (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	外傷手術の考え方とハイブリッド治療の可能性	井戸口孝二	日本救急放射線研究会 第一回外傷IVR症例検討会	2014.5.10
2	救急救命士の処置拡大について一心肺停止前の輸液路確保ならびにブドウ糖溶液投与—	松岡哲也	泉州南消防本部 泉州地域消防本部消防長・救急担当課長	2014.5.24
3	重症肝損傷におけるPerihepatic packing	渡部広明	外傷外科手術指南塾(日本外傷学会)	2014.6.24
4	ダメージコントロール戦略におけるopen abdomen managementの実際	水島靖明	第28回日本外傷学会 ランチョンセミナー	2014.6.25
5	外傷初期診療におけるIVR—外傷医の視点から—	井戸口孝二	自治医大 第11回救急医学セミナー	2014.7.11
6	重症肝損傷におけるPerihepatic packing	渡部広明	外傷外科手術指南塾(日本消化器外科学会)	2014.7.18
7	外傷初期診療における画像診断とIVR	井戸口孝二	第12回 広島国際フォーラム	2014.8.10
8	重症患者の循環管理は何を指標にしたら良いのか? —輸液反応性の指標の臨床的効果—	渡部広明	京滋クリティカルケア・ヤングアカデミー	2014.8.23
9	どのようにすれば重症多発外傷が救命できるのか～JETEC(外傷専門診療ガイドライン)に基づく治療戦略～	渡部広明	第7回島根レジデントセミナー	2014.9.13
10	新たな外科領域Acute Care Surgeryとはなにか?	比良英司	大阪外科集談会教育セミナー	2014.9.20
11	重症肝損傷におけるPerihepatic packing	渡部広明	外傷外科手術指南塾(第6回ACS学会)	2014.9.20
12	阪神淡路大震災における震災関連疾患の発生状況—災害時病診連携の重要性—	松岡哲也	大阪府医師会11ブロック研修会 医師会員	2014.10.23
13	重症肝損傷におけるPerihepatic packing	渡部広明	外傷外科手術指南塾(日本救急医学会学会)	2014.10.30
14	外傷傷病者に対するMC	松岡哲也	神奈川総合医療会館 神奈川県MC関係者(医師・救急救命士)	2014.12.2

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
15	重症外傷患者救命のために外傷診療チームに求められる能力	松岡哲也	横浜市立大学救命救急センター 医師・看護師・コメディカル	2014.12.2
16	プロトコルの策定とオンラインMC	松岡哲也	病院前医療体制における指導医セミナー (兵庫災害医療センター) 医師	2014.12.3
17	外傷外科手術なんて怖くない！ ～緊急開腹・開胸術に強くなるセミナー～	渡部広明	メディカセミナー	2015.1.17
18	open abdomen managementの合併症、予後に関する後ろ向き多施設共同研究	水島靖明	第6回近畿救急局所陰圧閉鎖療法研究会	2015.1.24
19	外傷外科手術なんて怖くない！ ～緊急開腹・開胸術に強くなるセミナー～	渡部広明	メディカセミナー	2015.2.14
20	重症肝損傷におけるPerihepatic packing	渡部広明	外傷外科手術指南塾(日本腹部救急医学会学会)	2015.3.4
21	スパズム予防のための輸液管理プロトコルと新しい循環評価	萩原 靖	第40回日本脳卒中学会	2015.3.26

## 研究業績：診療局 薬剤科

### (1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	南泉州地域における薬薬連携	森朝紀文	大阪府薬雑誌	第65巻 第11号	4-5	2014.11

### (2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	2つの救命救急センターにおける薬剤師による抗生剤の副作用比較	丸田栄一 森朝紀文	第36回日本病院薬剤師会近畿学術大会	2015.1.25

### (3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	医療安全講習会「STOP! Medikation Fehler」	森朝紀文	2015.2.4

## 研究業績：診療局 放射線技術科

### (1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	技師読影補助業務の実態	坂下恵治	日本診療放射線技師会雑誌	61(12)	43-46	2014
2	救急医療における放射線技術の現状と課題	坂下恵治	日本放射線技術学会東北部会雑誌	24	28-29	2015

### (2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	位置決め画像の収集範囲とCT-AECの動作特性に関する検討	西池成章	第70回日本放射線技術学会総会学術大会	2014.4.12
2	ファイルメーカーを使用した循環器運用について	中平修司	日本医用画像管理学会 平成26年度第1回学術大会	2014.4.26
3	頭部CT画像上の急性期脳梗塞における早期虚血サイン検出の支援診断システムの開発	坂下恵治	医用画像研究会	2014.5.22
4	(チューター) 内因性疾患の画像認識	中平修司	日本放射線技術学会 第7回救急撮影セミナー(大阪)	2014.6.8
5	(チューター) 模擬CT撮影実習	安永佳介	日本放射線技術学会 第7回救急撮影セミナー(大阪)	2014.6.8
6	診療放射線技師への外傷教育の必要性について	坂下恵治	第28回日本外傷学会総会・学術集会	2014.6.26



番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
7	救急放射線撮影に必要な知識と実技	坂下恵治	救急撮影実習(ベルランド病院)	2014.7.21
8	救急放射線撮影に必要な知識と実技	坂下恵治	救急撮影実習(聖路加国際病院)	2014.8.12
9	救急放射線撮影に必要な知識と実技	坂下恵治	救急撮影実習(川崎医科大学病院)	2014.8.15
10	第30回記念シンポジウム「技師読影補助業務の実態」	坂下恵治	第30回日本診療放射線技師学術大会	2014.9.20
11	救急放射線撮影に必要な知識と実技	坂下恵治	救急撮影実習(浜松医科大学医学部附属病院)	2014.10.1
12	シンポジウム「救急医療における放射線技術の現状と課題」	坂下恵治	第4回東北放射線医療技術学術大会	2014.10.25
13	基調講演 I「救急診療におけるCTの重要性と新たな展開」	坂下恵治	公益社団法人日本放射線技術学会関東部会CTGUMセミナー	2014.11.23
14	救急放射線撮影に必要な知識と実技	坂下恵治	救急撮影実習(大阪府立急性期・総合医療センター)	2014.12.1
15	救急放射線撮影に必要な知識と実技	坂下恵治	救急撮影実習(信州大学医学部附属病院)	2015.1.15
16	救急放射線撮影に必要な知識と実技	坂下恵治	救急撮影実習(近畿大学医学部附属病院)	2015.3.5

### (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	救急診療における胸部CT撮影の実際と重要所見	坂下恵治	三重胸部CT技術研究会(三重)	2014.5.17
2	外傷患者診療における撮影技術	坂下恵治	日本放射線技術学会第7回救急撮影セミナー(大阪)	2014.6.8
3	チーム医療の推進と診療放射線技師の役割	坂下恵治	公益財団法人医療研修推進財団診療放射線技師新人研修会(大阪)	2014.6.28
4	救急放射線技術と救急撮影認定技師の取り組み	坂下恵治	山武地域救急撮影講演会(千葉)	2014.7.3
5	救急医療における読影補助の実際ー現場でどうするか？ー	坂下恵治	Rテクノロジーミーティング(兵庫)	2014.7.4
6	急性期疾患患者のフィジカルアセスメント技術	坂下恵治	救急撮影講習会(岡山)	2014.7.21
7	救急医療における画像診断と重要所見	坂下恵治	日本救急検査技師認定機構指定講習会(鹿児島)	2014.8.24
8	外傷全身CTについて考える～背景から現状、問題点まで～	西池成章	長野県CT撮影技術研究会第17回CTセミナー(長野)	2014.8.30
9	内因性疾患の診療における撮影技術	坂下恵治	日本放射線技術学会第8回救急撮影セミナー(秋田)	2014.8.31
10	初心者向け！救急CT撮影のコツと工夫	藤村一郎	第15回瀬戸内CTサイエンスセミナー(広島)	2014.9.6
11	位置決め収集範囲と本スキャン撮影線量に関する検討	増田慎吾	第30回日本診療放射線技師学術大会第21会東アジア学術交流大会	2014.9.19
12	医用画像情報とその管理	小西康彦	公益財団法人医療研修推進財団実習施設指導者養成講習会(神戸)	2014.9.26
13	救急診療における診療放射線技師の役割	西池成章	第15回放射線診療技術研究会(兵庫)	2014.10.25
14	救急医医療における読影のすすめ	坂下恵治	山口県放射線技師会(山口)	2014.11.9
15	医用画像情報管理	小西康彦	医用画像管理セミナー in 秋田	2014.11.15
16	救急医療における読影の実際	坂下恵治	近畿医療技術専門学校学友会学術講演会(大阪)	2014.11.15
17	明日から役立つCTセミナー 意識していますか？CT撮影に欠かせない3つの技術	中平修司	大阪府放射線技師会:大阪	2015.1.21
18	1日でわかる「肝癌A to Z」～撮影法と工夫:CT撮影～	中平修司	関西循環器研修会:大阪	2015.1.24
19	救急放射線技術と読影補助の必要性	坂下恵治	京都私立病院協会講演会(京都)	2015.2.6
20	当院の乳腺検査(マンモグラフィ・US)の運用	株崎律子	第3回全国医療情報システム合同研究会	2015.2.7

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
21	医用画像情報研究会の状況	小西康彦	第3回全国医療情報システム合同研究会	2015.2.7
22	救急放射線技術と次代に望むこと	坂下恵治	近畿救急撮影セミナー (大阪)	2015.2.11
23	救急医療におけるCTの役割と今後の展開	坂下恵治	GE-CT研究会 (兵庫)	2015.2.15
24	日本診療放射線技師会 MRI基礎講習	常玄大輔	日本診療放射線技師会 (大阪)	2015.2.22
25	役に立つ救急医療における読影の補助	坂下恵治	静岡県西部地区勉強会 (静岡)	2015.3.7
26	今日の救急放射線技術と今後の課題	坂下恵治	北大阪Radiologyカンファレンス (大阪)	2015.3.13
27	今日の救急放射線技術と今後の展開	坂下恵治	CTテクノロジーフォーラム (広島)	2015.3.14

#### (4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	放射線管理説明(研修医向け)	安永佳介	2014.4.3
2	救急撮影技師に必要な基礎知識と読影の補助	藤村一郎	2014.4.15
3	インシデントレポートについて	中平修司	2014.6.19
4	心筋シンチについて	安永佳介	2014.7.23
5	救急診療の歴史と画像診断1	坂下恵治	2014.8.6
6	救急診療の歴史と画像診断2	坂下恵治	2014.8.13
7	救急診療の歴史と画像診断3	坂下恵治	2014.8.19
8	外傷パンスキャンとFACT1	坂下恵治	2014.9.10
9	外傷パンスキャンとFACT2	坂下恵治	2014.9.24
10	急性肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症	藤村一郎	2014.10.23
11	放射線教育訓練	安永佳介	2014.11.7
12	ポータブル撮影体験会	坂下恵治	2014.11.7
13	MOTTAINAI-ONE(院内TQM大会)	発表者：長谷川勝俊 (共同研究者：早川治男・山本有佳理・株崎律子)	2015.2.27

## 研究業績：診療局 臨床工学科

#### (1) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	デバイスによる心臓ペースング療法の最新機能設定について	中谷暁洋	West Clinical Engineer Symposium	2014.4.27
2	心房刺激不全を契機とした逆行性P波の出現により、最大AFサプレッションレートでのペースング調律となった症例	吉田光海	第3回大阪CEデバイスカンファレンス	2014.10.5
3	TEVAR術後のペースメーカー移植術に関して検討した1症例	中谷暁洋	第21回近畿臨床工学会	2014.10.12
4	PCI急変時に対する準備について	中谷暁洋	Hanshin Yes Club	2014.11.8
5	デバイスにおける患者データ管理について	中谷暁洋	兵庫県臨床工学技士会セミナー	2015.1.18

## 研究業績：チーム医療 NST回診（NST運営委員会）

### （1）学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会・研 究 会 名	年 月 日
1	静脈栄養時と新生児期の腸管バリアの変化－粘 液層の減少と腸管透過性の亢進－	飯干泰彦 他	日本外科代謝栄養学会第51回学術 集会	2014.7.4
2	長期静脈栄養におけるポート感染に地域医療連 携下に対応した1例	左 信哲 他	第6回日本静脈経腸栄養学会近畿 支部学術集会	2014.7.26
3	りんくうNST栄養サポートチームの現状	宇野妙子	第19回泉州地区NST研究会	2014.10.18
4	当院におけるNST栄養サポートチーム回診につ いて～看護師の役割を中心に～	松本有希	第20回泉州地区NST研究会	2015.3.7

### （2）学術講演

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	静脈栄養、経腸栄養と腸管のバリア	飯干泰彦	りんくう教育研修棟 医師、看護 師、栄養士、薬剤師、理学療法士、 作業療法士等	2015.3.7

## 研究業績：共同運営部門 中央検査部

### （1）学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会・研 究 会 名	年 月 日
1	単径ヘルニア大腿ヘルニアにおける術前超 音波検査による評価	中村雅美	第87回日本超音波医学会学術集 会	2014.5.10
2	骨髓像の見方	米本隆浩	血液形態セミナー	2014.5.10
3	危険ドラッグの現状	石田浩美	第36回緊急検査研究会	2014.9.6
4	術前診断が困難であったReidel甲状腺炎の一 例	中村雅美	第33回日本乳腺甲状腺超音波医 学会学術集会	2014.10.18
5	耳下腺原発と考えられる悪性黒色腫の一 例	小林信子	第53回日本臨床細胞学会秋期大 会	2014.11.8
6	乳腺腫瘍における造影超音波検査(CEUS)の 有用性と造影MRIとの比較	中村雅美	日本超音波医学会 第41回関西地 方会学術集会	2014.11.22
7	髄様癌の一例	中村雅美	東芝メディカル画論	2014.12.14
8	マラリアの一症例	米本隆浩	血液標本検討会	2014.12.18
9	特定感染症指定医療機関の対応	原 克則	大阪北地区オープンセミナー	2015.2.7
10	$\beta$ -D-グルカン測定値と治療効果の検討	須合恵美	第30回日本環境感染学会	2015.2.21

### （2）院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	髄液検査	田川次郎	2014.4.28
2	グラム染色の具体的な方法について	福岡京子	2014.5.3
3	耳下腺原発と考えられる悪性黒色腫の一 例	小林信子	2014.6.27
4	輸血検査について	宮本志保	2014.7.25
5	乳腺造影超音波検査	藤原理恵	2014.10.31
6	多職種症例検討会	井上早紀	2014.11.27
7	腹部超音波検査で発見できた左腎梗塞症例	玉野志麻	2014.11.28
8	血液検査データの見方・考え方	井上早紀	2015.1.30
9	災害発生時の検査科の対応について	石田浩美	2015.2.27
10	顕微鏡の使い方	伊藤歌奈巳	2015.3.27

## 研究業績：共同運営部門 <周産期センター>産科医療センター

### (1) 原著、総説、著書

番号	整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1		子宮外に発生した子宮動静脈瘻の一例について	智多昌哉 高岡 幸 宮武 崇 三村真由子 橋本洋之 横井 猛 長松正章 杉原英治	産婦人科の進歩	第66巻 2号	137-142	2014
2		大阪泉州・泉南地域での産婦人科集約化の取り組み 1+1>2の成果	荻田和秀	Fetal & Neonatal Medicine	Vol.16 No.1	42-47	2014

### (2) 学会研究会報告

番号	整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1		月経痛を契機に明らかになった子宮奇形の2例	串本卓哉 橋村茉莉子 海野ひかり 山崎瑠璃子 竹田満寿美 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 荻田和秀 長松正章 横井 猛	日本産科婦人科学会 第66回学術講演会(東京)	2014.4.18-20
2		当院における子宮内膜混合癌の検討	宮武 崇 橋村茉莉子 串本卓哉 山崎瑠璃子 海野ひかり 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 横井 猛 荻田和秀 長松正章	日本産科婦人科学会 第66回学術講演会(東京)	2014.4.18-20
3		高齢者の婦人科癌患者に対する治療法の選択について	竹田満寿美 長松正章 横井 猛 荻田和秀 三村真由子 宮武 崇 三好 愛 串本卓哉 海野ひかり 山崎瑠璃子 橋村茉莉子	日本産科婦人科学会 第66回学術講演会(東京)	2014.4.18-20
4		子宮奇形合併妊娠16例と周産期合併症についての検討	甲村奈緒子 澤田真明 西川愛子 智多昌哉 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	日本産科婦人科学会 第66回学術講演会(東京)	2014.4.18-20
5		全前置胎盤症例に対する内腸骨動脈バルーン併用帝王切開術～当院での取り組み	後藤摩耶子 甲村奈緒子 澤田真明 西川愛子 智多昌哉 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀	日本産科婦人科学会 第66回学術講演会(東京)	2014.4.18-20
6		当科で経験した子宮動脈塞栓術妊娠の3例	張 良実 澤田真明 甲村奈緒子 西川愛子 智多昌哉 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀	日本産科婦人科学会 第66回学術講演会(東京)	2014.4.18-20
7		妊娠高血圧症候群・周産期心筋症・羊水塞栓症から母体救命し得た1症例	吉田 晋 澤田真明 甲村奈緒子 西川愛子 智多昌哉 後藤摩耶子 張 良実 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	日本産科婦人科学会 第66回学術講演会(東京)	2014.4.18-20
8		産褥子宮の摘出および子宮型羊水塞栓症に関する検討	澤田真明 佐藤 敦 甲村奈緒子 西川愛子 知多昌哉 吉田 晋 福井 温 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	日本産科婦人科学会 第66回学術講演会(東京)	2014.4.18-20

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会・研究会名	年 月 日
9	子宮筋腫合併妊娠の妊娠・分娩管理におけるMRIでの筋腫評価の有用性に関する検討	智多昌哉 甲村奈緒子 澤田真明 西川愛子 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	日本産科婦人科学会 第66回学術講演会(東京)	2014.4.18-20
10	前方視的に待機的管理を行った胎盤遺残に関する予後の検討	西川愛子 甲村奈緒子 澤田真明 智多昌哉 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	日本産科婦人科学会 第66回学術講演会(東京)	2014.4.18-20
11	慢性骨髄単球性白血病を合併し化学療法の実行に苦慮した再発子宮頸癌の一例	山崎瑠璃子 宮武 崇 橋村茉利子 海野ひかり 串本卓哉 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 横井 猛 荻田和秀 長松正章	日本産科婦人科学会 第66回学術講演会(東京)	2014.4.18-20
12	当院で経験した子宮頸癌合併妊娠4例の後方視的検討	橋村茉利子 山崎瑠璃子 海野ひかり 串本卓哉 竹田満寿美 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 荻田和秀 横井 猛 長松正章	日本産科婦人科学会 第66回学術講演会(東京)	2014.4.18-20
13	原発不明の転移性卵巣胚細胞カルチノイドの1症例	海野ひかり 宮武 崇 橋村茉利子 山崎瑠璃子 串本卓哉 竹田満寿美 三好 愛 三村真由子 横井 猛 荻田和秀 長松正章	日本産科婦人科学会 第66回学術講演会(東京)	2014.4.18-20
14	日本の妊娠中期自然流産既往妊婦における妊娠中期自然流産反復率および自然早産率とリスク因子の検討	福井 温 荻田和秀 林 周作 遠藤誠之 山下美智子 奥野健太郎 味村和哉 増原完治 金川 武 石井桂介 光田信明 木村正	日本産科婦人科学会 第66回学術講演会(東京)	2014.4.18-20
15	妊娠中の虫垂炎に難渋し自然早産経膈分娩後開腹術にて診断治療しえた1例	福井 温 高岡 幸 橋村茉利子 山崎瑠璃子 海野ひかり 串本卓哉 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 鹿戸佳代子 荻田和秀	第31回日本産科婦人科感染症研究会学術集会(兵庫)	2014.6.7-8
16	帝王切開手術の基本理解と術後のケアポイント	荻田和秀	日総研セミナー(東京)	2014.6.21
17	子宮内膜症における血清CA19-9・CA125に関する検討	澤田真明 宮武 崇 甲村奈緒子 西川愛子 智多昌哉 竹田満寿美 紺谷佳代 三好 愛 三村真由子 長松正章 横井 猛 荻田和秀	第130回近畿産科婦人科学会(大阪)	2014.6.28-29
18	当院における救命センターとの連携症例の検討	橋村茉利子 後藤摩耶子 山崎瑠璃子 海野ひかり 串本卓哉 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 横井 猛 長松正章 荻田和秀	第130回近畿産科婦人科学会(大阪)	2014.6.28-29

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
19	PIDに肛門周囲膿瘍を併発し治療に難渋した1例	海野ひかり 吉田 晋 橋村茉莉子 山崎瑠璃子 串本卓哉 後藤摩耶子 張 良実 佐藤 敦 鹿戸佳代子 福井 温 児玉 匠 水野 均 横井 猛 荻田和秀	第130回近畿産科婦人科学会(大阪)	2014.6.28-29
20	慢性骨髄単球性白血病を合併し化学療法の施行に苦慮した再発子宮頸癌の1例	山崎瑠璃子 宮武 崇 橋村茉莉子 海野ひかり 串本卓哉 竹田満寿美 三好 愛 紺谷佳代 三村真由子 荻田和秀 横井 猛 長松正章	第130回近畿産科婦人科学会(大阪)	2014.6.28-29
21	Lipschutz潰瘍が疑われた性器潰瘍性病変の2例	紺谷佳代 甲村奈緒子 澤田真明 智多昌哉 西川愛子 竹田満寿美 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第130回近畿産科婦人科学会(大阪)	2014.6.28-29
22	手術前後で診断が異なった巨大腫瘍の2例	西川愛子 宮武 崇 甲村奈緒子 澤田真明 智多昌哉 竹田満寿美 紺谷佳代 三好 愛 三村真由子 長松正章 横井 猛 荻田和秀	第130回近畿産科婦人科学会(大阪)	2014.6.28-29
23	産褥子宮摘出術22例(4年)の検討	竹田満寿美 甲村奈緒子 澤田真明 西川愛子 智多昌哉 紺谷佳代 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第130回近畿産科婦人科学会(大阪)	2014.6.28-29
24	もやもや病合併妊娠に対して硬膜外麻酔併用経膈分娩にて出生した1例	甲村奈緒子 澤田真明 西川愛子 智多昌哉 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀	第50回日本周産期・新生児医学会(千葉)	2014.7.13-15
25	妊娠中に活動性ループス腎炎の憎悪を認め早期娩出に至った1例	西川愛子 甲村奈緒子 澤田真明 智多昌哉 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 長松正章 荻田和秀	第50回日本周産期・新生児医学会(千葉)	2014.7.13-15
26	当院での救命センターとの連携症例21例の検討	橋村茉莉子 後藤摩耶子 山崎瑠璃子 海野ひかり 串本卓哉 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	第50回日本周産期・新生児医学会(千葉)	2014.7.13-15
27	妊娠中に診断が困難であり母体死亡に至った血球貧食症候群の1例	張 良実 甲村奈緒子 橋村茉莉子 澤田真明 串本卓哉 後藤摩耶子 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 横井 猛 荻田和秀	第50回日本周産期・新生児医学会(千葉)	2014.7.13-15
28	当院における危機的産科出血への戦略～Interventional Radiologyの有用性の検討～	後藤摩耶子 荻田和秀 松岡哲也	第50回日本周産期・新生児医学会(千葉)	2014.7.13-15

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
29	広汎性子宮頸部摘出術後の妊娠管理に関する検討	吉田 晋 甲村奈緒子 澤田真明 橋村茉莉子 後藤摩耶子 張 良実 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀 横井 猛	第50回日本周産期・新生児医学会 (千葉)	2014.7.13-15
30	脳転移に対して外科治療を行った卵巣癌の3例	甲村奈緒子	第56回日本婦人科腫瘍学会(栃木)	2014.7.17-19
31	ホルモン産生卵巣腫瘍を疑って腹腔鏡下手術を施行し転移性卵巣腫瘍と判明した1例	横井 猛	第56回日本婦人科腫瘍学会(栃木)	2014.7.17-19
32	科学療法が奏効し、その後手術にて寛解を得た、子宮内膜癌IVa期の1症例	宮武 崇	第56回日本婦人科腫瘍学会(栃木)	2014.7.17-19
33	周産期における救急疾患の理解と初期対応	荻田和秀	日総研(大阪)	2014.7.26
34	死戦期帝王切開	荻田和秀	OGCS研修会(大阪)	2014.8.30
35	腹腔鏡下手術後にイレウスと鑑別が必要な皮下気腫を生じた一例	串本卓哉 小宮慎之介 甲村奈緒子 竹田満寿美 玉田 将 紺谷佳代 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 長松正章 横井 猛	第54回日本産婦人科内視鏡学会 (鹿児島)	2014.9.11-13
36	腹腔鏡下子宮筋腫核出術における子宮筋腫の回収方法の工夫	甲村奈緒子 三好 愛 小宮慎之介 串本卓哉 竹田満寿美 玉田 将 紺谷佳代 三村真由子 宮武 崇 長松正章 横井 猛	第54回日本産婦人科内視鏡学会 (鹿児島)	2014.9.11-13
37	当院における卵巣腫瘍合併妊娠症例の腹腔鏡下手術の工夫	澤田真明 小宮慎之介 甲村奈緒子 串本卓哉 竹田満寿美 玉田 将 紺谷佳代 三好 愛 宮武 崇 三村真由子 長松正章 横井 猛	第54回日本産婦人科内視鏡学会 (鹿児島)	2014.9.11-13
38	当科におけるドライボックスでのトレーニング方法の工夫	三好 愛 小宮慎之介 甲村奈緒子 串本卓哉 竹田満寿美 玉田 将 紺谷佳代 宮武 崇 三村真由子 長松正章 横井 猛	第54回日本産婦人科内視鏡学会 (鹿児島)	2014.9.11-13
39	外陰癌の転移巣と疑われた腫瘤に対して腹腔鏡下で切除・診断した症例	玉田 将 小宮慎之介 甲村奈緒子 串本卓哉 竹田満寿美 三好 愛 紺谷佳代 宮武 崇 三村真由子 長松正章 横井 猛	第54回日本産婦人科内視鏡学会 (鹿児島)	2014.9.11-13
40	より安全に出来るTLHをめざして	横井 猛 小宮慎之介 甲村奈緒子 串本卓哉 竹田満寿美 玉田 将 三好 愛 紺谷佳代 宮武 崇 三村真由子 長松正章	第54回日本産婦人科内視鏡学会 (鹿児島)	2014.9.11-13
41	TLH術中に膀胱鏡にて尿流出を確認し、術後尿狭窄による再手術を回避し得た一例	宮武 崇 小宮慎之介 甲村奈緒子 串本卓哉 竹田満寿美 三好 愛 玉田 将 紺谷佳代 三村真由子 長松正章 横井 猛	第54回日本産婦人科内視鏡学会 (鹿児島)	2014.9.11-13

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会・研究会名	年 月 日
42	HemoPhagocytic syndrome in pregnancy : a case report	Nishimura, M. Chang, Y. Satoh, O. Fukui, O. Ogita, K.	第46回国際妊娠病態生理学会(東京)	2014.9.18-20
43	死戦期帝王切開術後のダメージコントロール戦略にて母児共に救命し得た一例	後藤摩耶子 渡部広明 荻田和秀 松岡哲也	第6回Acute Care Surgery(青森)	2014.9.21-21
44	治療に難渋した小腸イレウスの一例	澤田真明 吉田 晋 西村真唯 中島文香 橋村茉莉子 後藤摩耶子 張 良実 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 横井 猛 藤井 仁 位藤俊一 荻田和秀	第32回クラミジア研究会学術集会(京都)	2014.9.27
45	当院での帝王切開術後皮下腫瘍に対する最近の試み	中島文香	第11回泉州広域母子医療センター症例検討会(大阪)	2014.9.27
46	性器出血によりショックとなった侵入胎状奇胎の一例	西村真唯	第11回泉州広域母子医療センター症例検討会(大阪)	2014.9.27
47	卵巣腫瘍を疑い手術中に診断されたGISTの1症例	串本卓哉	第11回泉州広域母子医療センター症例検討会(大阪)	2014.9.27
48	当院における産婦人科集約後5年間における婦人科癌治療の動向	小宮慎之介	第11回泉州広域母子医療センター症例検討会(大阪)	2014.9.27
49	ウェアブルカメラを用いた手術動画記録の取り組み	吉田 晋 西村真唯 橋村茉莉子 澤田真明 後藤摩耶子 張 良実 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀 横井 猛	第37回日本産婦人科手術学会(北海道)	2014.10.11-12
50	硬膜外針を用いた子宮体部への圧迫止血縫合	澤田真明 佐藤 敦 西村真唯 中島文香 橋村茉莉子 後藤摩耶子 張 良実 吉田 晋 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀 横井 猛	第37回日本産婦人科手術学会(北海道)	2014.10.11-12
51	帝王切開術後、劇症型赤痢アメーバ大腸炎により大腸全摘・小腸瘻増設を行った一例	西村真唯 後藤摩耶子 高岡 幸 中島文香 橋村茉莉子 澤田真明 張 良実 吉田 晋 佐藤 敦 福井 温 鹿戸佳代子 荻田和秀	第131回近畿産婦人科学会学術集会(大阪)	2014.10.26
52	当院におけるRT術後患者妊娠予後の検討	小宮慎之介 宮武 崇 甲村奈緒子 串本卓哉 竹田満寿美 玉田 将 紺谷佳代 三好 愛 吉田 晋 三村真由子 長松正章 荻田和秀 横井 猛	第131回近畿産婦人科学会学術集会(大阪)	2014.10.26
53	高値を伴う子宮筋腫の一例	三好 愛 小宮慎之介 甲村奈緒子 串本卓哉 玉田 将 紺谷佳代 宮武 崇 三村真由子 長松正章 横井 猛	第26回平地会臨床懇話会 第36回大阪大学産婦人科オープンクリニカルカンファ(大阪)	2014.11.15
54	虐待発生予防に向けた妊娠期からの医療と保健の連携	荻田和秀	平成26年度大阪府内保健師児童虐待予防研修(大阪)	2014.12.12
55	羊水塞栓症の関与が疑われ子宮摘出が有用であった敗血症性ショックの一例	西村真唯 新谷紘史 後藤摩耶子 荻田和秀 渡部広明 松岡哲也	第51回日本腹部救急医学会総会(京都)	2015.3.5-6
56	当院におけるクラミジア骨盤炎症背疾患(PID)の検討	澤田真明	第51回日本腹部救急医学会総会(京都)	2015.3.5-6



番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
57	当院における死戦期帝王切開への取り組み～症例検討と課題～	後藤摩耶子	第51回日本腹部救急医学会総会(京都)	2015.3.5-6
58	分娩誘発時にCOOK子宮頸管拡張バルーンを使用した2症例	小宮慎之介	第12回泉州広域母子医療センター症例検討会(大阪)	2015.3.28
59	産婦人科出血に対する輸血療法～今そこにある危機～	藤川恵理	第12回泉州広域母子医療センター症例検討会(大阪)	2015.3.28
60	50歳の胎状奇胎の2例	中島文香	第12回泉州広域母子医療センター症例検討会(大阪)	2015.3.28
61	細胞診ASC-USの臨床的意義	西村真唯	第12回泉州広域母子医療センター症例検討会(大阪)	2015.3.28

## 研究業績：共同運営部門 <周産期センター>新生児医療センター

### (1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	大阪泉州・泉南地域での産婦人科集約化の取り組み～小児科の取り組み～	住田 裕	Fetal & Neonatal Medicine	6(1)	48	2014

### (2) 学会研究会発表

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	嘔吐・腹部膨満を認め、診断に難渋した先天性小腸狭窄症の1例	山本真也 竹村 亮 今西洋介 山本昌周 和田芳郎 住田 裕	第59回日本未熟児新生児学会・学術集会(松山市)	2014.11.11

## 研究業績：共同運営部門 リハビリテーションセンター

### (1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	歩行分析における動画切り出し画像の定量評価の簡便な方法の提案	藤野文崇	大阪河崎リハビリテーション大学紀要	9	95-105	2015
2	THA術後患者に対する腹臥位・四つ這位での運動は有効か	藤野文崇	近畿理学療法学会誌	44		2015

### (2) 学会研究会発表

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	内包後脚のラクナ梗塞により歩行困難となった一症例～Redcord Exerciseでの急性期理学療法法の展開～	大野直紀	日本リハビリテーション医学会	2014.6.5-7
2	腹部大動脈瘤術後患者におけるリハビリテーション遅延因子の検討	岡田仁志	日本老年医学会	2014.6.12
3	終末期に患者さんのニーズを重視したリハビリテーションを実施した一例	藤野文崇	第19回日本緩和医療学会大会	2014.6.19-21
4	THA患者の爪切り動作獲得には何が必要か	安江優美	栗東芸術文化会館SAKIRA	2014.10.5
5	脳梗塞後の入院期間に血圧変動は影響するか?	岡田仁志	日本高血圧学会総会	2014.10.17-19
6	THA術後患者に対する腹臥位・四つ這位での運動は有効か	藤野文崇	第54回近畿理学療法学会大会	2014.11.3
7	THA術後患者における歩行時の関節角度と機能的評価の関係	藤野文崇	リハビリテーション・ケア合同研究大会in長崎	2014.11.6-8
8	バランス不良症例に対する頭頸部へのアプローチは有効か	藤野文崇	リハビリテーション・ケア合同研究大会in長崎	2014.11.6-8
9	当院救命救急センターにおけるリハビリテーション科と看護部の取り組み	藤野文崇	第8回日本医療マネジメント学会大阪支部会	2015.2.21
10	レッドコードを用いた姿勢制御課題と眼球運動課題を実施した一症例	大野直紀	第17回日本レッドコード研究会学術大会	2015.2.8

## (3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	座位姿勢計測ソフトRysisの紹介 (ワークショップ)	藤野文崇	インテックス大阪 理学療法士、作業療法士、他	2014.4.18
2	クラインフォーゲルパッハの概念による運動療法	藤野文崇	関西医療大学 理学療法士	2014.9.25
3	Functional Kinetics	藤野文崇	関西医療大学 理学療法士	2014.10.2
4	バランスについて考える	藤野文崇	市民交流センターなになわ 理学療法士、作業療法士	2014.12.7
5	脳卒中患者の痙縮はなぜおこる	藤野文崇	エントレリハ 理学療法士、看護師、介護士	2014.12.13
6	PNF(マットアクティビティ)	藤野文崇	済生会中津病院	2014.12.14
7	PNF(マットアクティビティ)	藤野文崇	済生会中津病院	2015.1.18
8	レッドコードエクササイズ実践編	藤野文崇	スポーツデイサービス 煌 理学療法士、柔道整復士、介護士	2015.1.25
9	自宅で出来る下肢のリハビリテーション	藤野文崇	りんくう総合医療センター 一般市民	2014.3.14

## (4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	NST専門療法士研修講師	廣谷典子	2014.6.10-11 2014.12.9-10

## 研究業績：看護局

## (1) 院外発表

番号整理	演 題	発 表 者	所属部署	学会・研究会名	年 月 日
1	手術待機家族の不安や要望に対する調査	中村英嗣	中央手術室	第1回日本手術看護学会近畿地区「看護研究・看護実践」発表会	2014.6.21
2	高齢者世帯で退院に難渋した心疾患患者の退院支援	寿慶奈津子	7山	第4回西日本心不全チーム医療研究会	2014.11.1
3	気管切開について代理意思決定に葛藤する家族への看護	菊池沙季	EICU	第111回近畿救急医学研究会	2015.3.7
4	過鎮静管理となった患者への呼吸機能改善への取り組み	富尾琴美	EICU	第111回近畿救急医学研究会	2015.3.7

## (2) 院外講師・ファシリテーター

番号整理	演 題	講師 ファシリテーター	研修・セミナー	講演場所	年 月 日
1	重症、医療・看護必要度	藤野副看護局長 鈴木副看護局長	泉州看護管理者会	泉の森ホール	2014.7.9

## (3) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	年 月
1	クリティカルケア看護領域における倫理的問題と対応	北村愛子看護局次長	教育・事例検討・研究に役立つ看護倫理実践事例46 第2章(日総研)		2014.6
2	外傷患者におけるプロトコルの安全性および有用性の検討	入山直美 他	ヒューマンニュートリション栄養管理の症例と実践	No.35	2015

## (4) 看護学校講師

番号整理	講 義 内 容	講 師	所属部署	学 校	講義回数
1	ICU看護	井畑美穂	ICU/CCU	泉佐野泉南医師会看護専門学校	6時間
2	脳神経系疾患看護	村野晃子	5海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	14時間
3	内分泌代謝疾患看護(成人I)	西村直美	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	6時間
4	循環器疾患看護	寿慶奈津子	7山	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間

番号整理	講義内容	講師	所属部署	学校	講義回数
5	消化器系疾患看護(外科)	兒嶋洋巳	8海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	6時間
6	内分泌代謝疾患看護(成人Ⅱ)	西村直美	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
7	腎・泌尿器疾患看護	田守杏子	6海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
8	血液疾患看護	久保仁志	8山	泉佐野泉南医師会看護専門学校	6時間
9	運動器疾患看護	榊原由紀	7海	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
10	呼吸器疾患看護	松浦信二	初療/OP	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
11	感染看護	山内真澄	感染管理CN	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
12	化学療法看護	森 沙苗	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	6時間
13	手術中看護	桑原深雪	OP	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
14	母性看護	乾 理絵	6山	泉佐野泉南医師会看護専門学校	8時間
15	創傷のケア	高橋敏枝	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	4時間
16	臨床看護方法論Ⅱ 救急看護	山田友子	E-ICU	泉佐野泉南医師会看護専門学校	6時間
17	看護の統合と実践Ⅱ リスクマネジメントの実際	河野純子	安全対策室	泉佐野泉南医師会看護専門学校	2時間
18	国家試験対策 化学療法	森 沙苗	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
19	国家試験対策 創傷管理・褥瘡	高橋敏枝	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
20	国家試験対策 糖尿病	西村直美	外来	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
21	国家試験対策 ICU看護	濱野利江子	ICU/CCU	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
22	国家試験対策 循環器系	寿慶奈津子	7山	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分
23	国家試験対策 感染看護	山内真澄	感染対策室	泉佐野泉南医師会看護専門学校	90分

(5) 院内研究発表会：2015年2月14日(土)

番号整理	演 題	発表者	所属部署
1	局所麻酔下で外来手術を受ける成人患者の情報ニーズと術前情報提供による不安軽減の評価	岸本由紀	OP
2	日帰り手術を受ける患児の親への術前オリエンテーションの導入と不安緩和	庄山早苗	外来
3	自己効力感や性格を考慮した指導の有効性～透析導入患者の水分・塩分・体重管理～	向井涼夏	8山
4	当院のフリースタイル分娩の取り組み～導入前後の安全性を比較し検証する～	西村静代	6山
5	2病院合併新設病棟の看護業務におけるチームワークとチームの特性	松本恭子	5山
6	NICUに入院した正期産児を持つ母親の心理	上島美紀	NICU/GCU
7	睡眠時無呼吸症候群を有する心不全患者へのNPPV導入向上への取り組み ～不安・不快が少ないNPPV導入をめざす～	西村紗希	7山
8	大腸内視鏡検査を受ける患者へアルゴリズム導入によるセルフケア行動の促進に関する研究	松本雅弘	放射線科
9	転棟を余儀なくされる患者の想いと、希望されるケアに関する研究	川上明美	5海
10	救命センターICUに入院した外傷患者の抜管後3日間におけるせん妄発症リスク要因	下田美由紀	EICU
11	心臓血管手術後の抜管に至った患者の抜管遅延に影響を及ぼす要因	田井寿美礼 中原 薫 松裏 豊 松本有希	ICU
12	TKA術後のリハビリテーション看護における日常生活動作に関する実態調査	長池千里	7海
13	回腸導管術を受けられる患者のストーマ管理ケアプログラム作成	豊嶋里美	6海
14	外科領域における看護師にインシデント減少を目指したKYT実施の有効性	長嶋祐子	8海
15	救命センター手術室看護師の静穏期における災害看護に対する意識調査	西村智美	初療/OP

## 研究業績：各業務 院内感染対策室

### (1) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	共同研究者	学会・研究会名	年 月 日
1	β-D-グルカン測定値と培養結果の相関と治療効果についての検討	須合恵美	福岡京子 泉原里絵 宮本紅喜 宮本訓子 北島正大 大野博美 山内真澄 上嶋孝江 山田 豊 倭 正也	第30回日本環境感染学会	2015.2.20-21
2	耳鼻咽喉科領域における内視鏡洗浄・消毒方法のマニュアル確立への取り組み	高田澄子	木浪加代 布野知恵美 長尾今日子 須合恵美 福岡京子 大野博美 山内真澄 上嶋孝江 山田 豊 倭 正也	第30回日本環境感染学会	2015.2.20-21

### (2) 学術講演

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	当院における院内清掃業者への関わりについて	山内真澄	第3回日本管理感染ネットワーク学術集会	2014.5.10

## 研究業績：各業務 地域医療連携室

### (1) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	泉州南部診療情報ネットワークシステム「なすびんネット」の導入と展望	りんくう総合医療センター 地域医療連携室 中西 賢 りんくう総合医療センター 情報管理係 井上理生 市立貝塚病院 医事課 斎喜賢吾 市立貝塚病院 地域医療連携室 長尾清美 阪南市民病院 地域連携室 馬詰 厚	第53回全国自治体病院学会	2014.10.30-31